

県営住宅越殿団地エコ改善工事 (機械設備)

図面リスト

図面NO.	図面名称	SCALE
M-00	タイトル、図面リスト	-
M-01	機械設備工事特記仕様書(1)	-
M-02	機械設備工事特記仕様書(2)	-
M-03	付近見取図、配置図、工事概要、概略工程表	1/700
M-04	換気設備 1階 配管図、機器表	1/100
M-05	換気設備 2~4階 配管図	1/100
M-06	衛生設備 器具表、機器表、各樹寸法表、特記事項	-
M-07	衛生設備 配管系統図	-
M-08	衛生設備 1階、屋外 配管図	1/100
M-09	衛生設備 2~4階 配管図	1/100
M-10	衛生設備 1階 住戸内配管図	1/50
M-11	衛生設備 2~4階 住戸内配管図	1/50
M-12	衛生設備 PS内 配管参考図	1/30
M-13	衛生設備 受水槽周り配管図、配線図	1/50
M-14	集中検針設備 配線系統図	-
M-15	集中検針設備 1、2階 配線図	1/100
M-16	集中検針設備 3、4階 配線図	1/100
M-17	衛生設備 配管系統図(撤去)、特記事項	-
M-18	衛生設備 1階、屋外 配管図(撤去)	1/100
M-19	衛生設備 2~4階 配管図(撤去)	1/100
M-20	衛生設備 屋上 配管図、高架水槽架台 参考図(撤去)	1/100, 50
M-21	換気、衛生設備 1階 住戸内配管図(撤去)	1/50
M-22	換気、衛生設備 2~4階 住戸内配管図(撤去)	1/50
M-23	衛生設備 受水槽周り配管図、配線図(撤去)	1/50

鳥取県

令和7年度

J2501317

中部総合事務所

有限会社 福田設備設計

〒689-1115 鳥取市紙子谷1-0番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士
一級建築士 第376077号 福田洋之
担当者
設備設計一級建築士 第5962号 福田洋之

CHECK

DRAW

福田

福田

県営住宅越殿団地エコ改善工事 (機械設備)

タイトル、図面リスト

SCALE

No

M-00

DATE

2026.01

機械設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1 工事場所 倉吉市広瀬町

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	県営住宅越殿団地	RC	4階	796.69	(5) 項 口	
2					() 項	
3					() 項	
4					() 項	
5					() 項	

3 工事種目 (●印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号	1	2	3	4	5	屋外	備考
● 空調設備								
● 冷暖房設備								
○ 換気設備		○						
● 排煙設備								
○ 自動制御設備		○						集中検針設備
○ 衛生器具設備		○						
○ 給水設備		○					○	
○ 排水設備		○					○	
○ 給湯設備		○						
○ ガス設備		○					○	
● 浄化槽設備								
● 消火設備								
● さく井設備								
● 電気設備工事								
● 建築工事								

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

●印の付いたものを適用する。

項目	設備概要
● 空調設備	● 単一ダクト方式 ● 各階ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式
● 冷暖房設備	● ファンコイルユニット方式 ● パッケージ方式
● 暖房設備	● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ● 温風暖房 (● 局所式 ● 中央式) ● 床暖房
● 熱源	● 電気 ● 灯油 ● A重油 ● ガス ● バイオマス
● 主要熱源機器	● 鋼製ボイラー ● 鋳鉄製ボイラー ● 真空式温水発生機 ● 無圧式温水発生器 ● テリングユニット ● スクリュー冷凍機 ● 遠心冷凍機 ● 吸収式冷凍機 ● 直置き吸収式冷水機 ● 小形吸収式冷水機ユニット ● バイオマスボイラー ● ルームエアコン ● ヒートポンプパッケージエアコン (マルチタイプ ● 有 ● 無) ● 温風暖房機 ● FF暖房機 ● その他 ()
換気設備	● 第一種 ● 第二種 ● 第三種
排煙設備	● 機械排煙 (適用法規 ● 建基法 ● 消防法)
自動制御設備	● 電気式 ● 電子式 ● デジタル式
○ 給水設備	給水方式 ● 水道直結方式 ● 高置水槽方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式
	水源 ● 水道水 ● 井水
	排水方式 ● 自然流下 ● ポンプ排水 (● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水)
	汚水 ● 公共下水道 ● 浄化槽
	雑排水 ● 公共下水道 ● 浄化槽
	雨水 ● 公共下水道 ● 側溝 ● 河川
○ 排水設備	放流先 ● 処理方式 ● 小規模合併 ● 合併 ● 河川
	浄化槽 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川
○ 給湯設備	● 局所式 (● ガス ● 油 ● 電気) ● 中央式 (● 油 ● ガス ● 電気)
● 消火設備	● 屋内消火栓 ● 屋外消火栓 ● 連絡送水管 ● 連絡散水
	● スプリンクラー ● 泡消火 ● 粉末消火装置
○ ガス設備	● 不活性ガス消火 (● 窒素 ● 窒素系) ● ハロゲン化物消火
	● 都市ガス (46.05 MJ/Nm ³) ● 液化石油ガス

II. 特記仕様

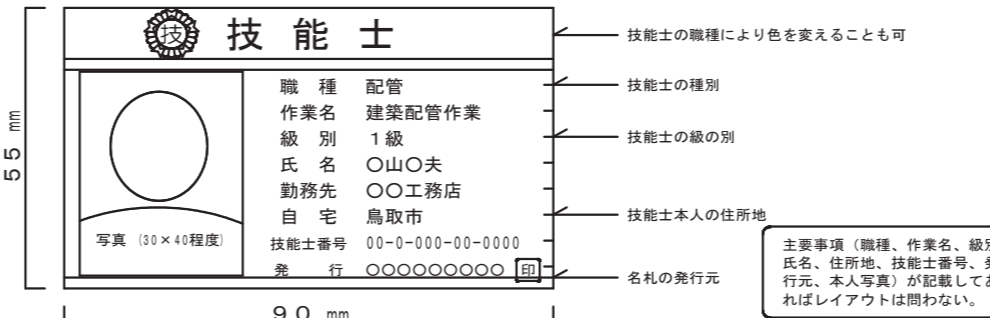
1 一般事項

- 現場説明書、質問回答書、特記仕様及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書等のうち、
 - 印の付いたものによる。
 - 公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (令和4年版) (以下「標準仕様書」という。)
 - 公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (令和4年版) (以下「改修標準仕様書」という。)
 - 公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (令和4年版) (以下「標準図」という。)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針 (令和4年版)」 (以下「監理指針」という。) を適用する。
- 電気設備工事及び建築工事を本工事を含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特記事項

- 項目は番号に ○印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は ●印の付いたものを適用する。
 - 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
 - 印と ⊗印の付いた場合は両方を適用する。
- 一般共通事項のうち (1、2、3、11、12、14、15、16、17、18、36) 項は、● 建築 ● 電気設備 工事特記仕様による。

一般共通事項

項目	特記事項															
○ 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。															
2 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事業用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物にかかる工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。															
3 工事安全計画書等	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。															
○ 発生材の分析及び処理	引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り () 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り ● 本工事において調査を行う (● 炭石綿 (配管用保温材) ● PCB使用機器 ● 煙道すず) アスベスト含有設備資機材 (ガスケット、パッキン、たわみ継手等の石綿含有廃棄物) は関係法令に従い適切に処理を行う。 PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析 ※ 無し ● 有り 再生資源化を図るもの ※ 無し ● 有り (● コンクリート塊 ● アスファルトコンクリート塊 ●)															
○ 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。															
○ 機材の品質・性能証明	JIS等のマーク及び評価書のある機材を使用する場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2 (3) の品質及び性能を有することの性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績等は除く。															
○ 機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式集 (令和4年版) によるほか、監督職員の指示による。															
○ 図形等の表示	機器類は、図示する形状、配管などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。															
○ 電気容量及び機器表示	機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上とする。															
○ 技能士の適用	電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。 下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業するとともに他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行う。また、そのものが技能士であることが分かる名札 (下図参考) を常時着用する。 ● 配管 (● 1級 ● 2級) ● 熱絶縁施工 (● 1級 ● 2級) ● 冷凍空調と機器施工 (● 1級 ● 2級) ● 建築板金 (● 1級 ● 2級)															
○ 施工図等	《技能士名札参考図》  提出した施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック 機械設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを出す。															
○ 完成写真等	<table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>分類・規格</th><th>撮影箇所</th><th>部数</th><th>電子データの提出</th></tr></thead><tbody><tr><td>工事写真</td><td>カラーサービス判</td><td>各工種工程毎</td><td>※ 1部 ● 部</td><td>● 要 ● 不要</td></tr><tr><td>完成写真</td><td>カラーサービス判</td><td>監督職員の指示による</td><td>※ 2部 ● 部</td><td>● 要 ● 不要</td></tr></tbody></table>	区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出	工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ 1部 ● 部	● 要 ● 不要	完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	● 要 ● 不要
区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出												
工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ 1部 ● 部	● 要 ● 不要												
完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	● 要 ● 不要												

一般共通事項

○ 完成図等

○ 他工事との取合

○ 工事用水・電力・その他

○ 表示板

17 足場

○ 工事用仮設物

○ 土工事

○ 保温工事

次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。

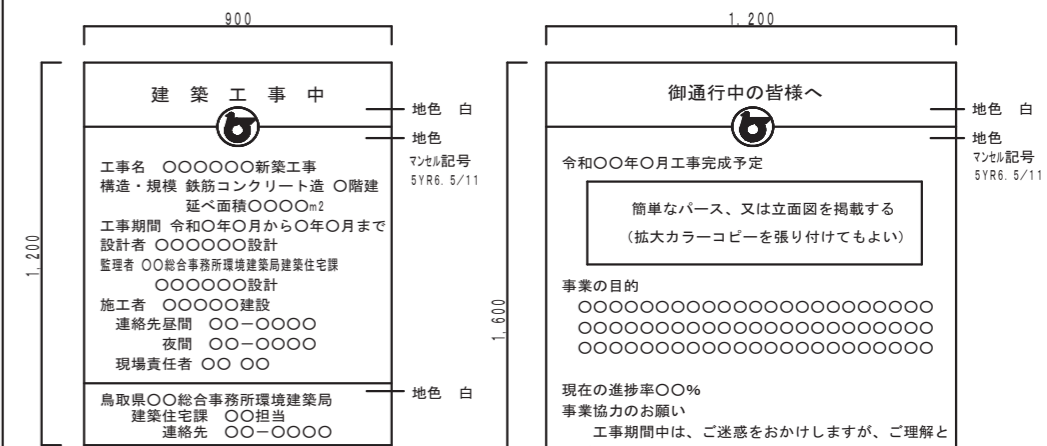
区分	名称	部数
※ 完成図原因	完成図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ 施工図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ	1部
※ 完成図 2つ折製本	※ 完成図 ※ 完成図 (縮小版) ● 施工図	※ 2部 ● 部
※ 完成図書 ※ A4版市販ファイル ● A4版黒表紙製本	● 完成図 (縮小版) ● 主要機器図 ● 試験成績書	※ 2部 ● 部
※ 保守用説明書 (A4版ファイル)	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 戸数+4部
※ 保証書		1部
※ 官公署の届出書類		1部
● 原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。		

他工事との取り合い		建築	電気設備	機械設備
○ コンクリート壁、床、梁貫通部	スリーブ・箱入 補強	● ● ●	● ● ●	※ ● ● ●
● 鉄骨造の開口及び補強		※ ● ● ●	● ● ●	● ● ●
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート (くぎ処理共)		● ● ●	※ ● ● ●	● ● ●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		● ● ●	※ ● ● ●	● ● ●
● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠	● ● ●	※ ● ● ●	● ● ●
	補強	※ ● ● ●	● ● ●	● ● ●
● OAFフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※ ● ● ●	● ● ●	● ● ●
○ 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強	切り込み	● ● ●	● ● ●	※ ● ● ●
	補強	※ ● ● ●	● ● ●	● ● ●
● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※ ● ● ●	● ● ●	● ● ●
● 電気室、自家発電室などの基礎及びビット (蓋を含む)		※ ● ● ●	● ● ●	● ● ●
○ 天井点検口		※ ● ● ●	● ● ●	● ● ●
○ 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	● ● ●	● ● ●	※ ● ● ●
	屋上設置	※ ● ● ●	● ● ●	● ● ●
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		● ● ●	● ● ●	※ ● ● ●
○ 機器用コントロールスイッチ (空調機、給湯器等) の取付及び配線		● ● ●	● ● ●	※ ● ● ●

本工事に必要な工事用水、水及び給水手続などの費用はすべて受注者の負担とする。

設ける。(寸法等は下図による。建築工事、電気設備工事等と一括して表示する。)

※ 工事表示板 ● お願い表示板



記入要領

1. 書体は角ゴシックとする。

2. お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督員が指示するものとする。

「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあつては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

構内に作ることが ※ 出来る ● 出来ない

(ア) 埋め戻し土 ● 根切土のなかの良質土 (● コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類)

● 山砂の類 ()

● 真砂土 ()

(イ) 建設発生土処分 ● 構外に搬出 ● 構内に敷ならし ● 構内の指示する場所に堆積

● 冷温水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)

● 蒸気管 (● ロックウール ● グラスウール ●)

○ 給水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)

● 保温チューブ (厚さ@10、20) ●)

● 排水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)

○ 給湯管 (● ロックウール ● グラスウール ● 保温チューブ (厚さ@10、20) ●)

● 消火管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)

○ ダクト (● ロックウール ● グラスウール ●)

● 燃焼熱源等機械室内の配管 (● ロックウール ● グラスウール)

● 全熱交換機の給気ダクト (● 機器外側 ● 機器室内側) は保温 (グラスウール25mm厚) する。

● 冷媒管の保温外装 屋内 (● 樹脂製化粧ケース ● 合成樹脂製シート ●)

屋外 (● 樹脂製化粧ケース ● SUS鋼板 ●)

鳥取県
令和7年度
J2501317
中部総合事務所

有限会社 福田設備設計

〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士
一級建築士 第376077号 福田洋之
担当者
設備設計一級建築士 第5962号 福田洋之

CHECK DRAW
福田 福田

県営住宅越殿団地工コ改善工事 (機械設備)
機械設備工事特記仕様書 (1)

SCALE No
M-01
DATE
2026.01

一般共通事項	21 鋼管類の防食処置	<p>地中埋設 ● ペトロラタム系 ● プチルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びシート</p> <p>① 絶縁継手 ● ① 絶縁フランジ ● ② 絶縁シート ● ③ 絶縁スリーブ ● ④ 絶縁ユニオン</p> <p>※ 合成ゴム製 (球形) ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ペローズ形 (ステンレス製)</p> <p>※ ペローズ形 ● スリーブ形</p> <p>各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。(さび止め塗装は除く。)</p> <p>(ア)埋設されるもの(ただし、防食塗装部分を除く) (イ)垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面</p> <p>(ウ)垂鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分 (エ)垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類</p> <p>(オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部分 (カ)カラー垂鉛鉄板面</p> <p>(キ)アルミ、ステンレス、銅、熔融アルミニウム-垂鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面</p> <p>(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面</p> <p>(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管</p> <p>● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所 ()</p> <p>呼び径60S u以下の継手は、S A S 3 2 2を満足するものとする。</p> <p>● ガス配管 ● 冷温水配管 ● 冷却水配管</p> <p>非破壊検査の適用 (● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査)</p> <p>抜 取 率 (● 標準仕様書による ● %)</p> <p>② 地中埋設機を明示する箇所に設ける。</p> <p>③ 埋設表示用テープを埋設する。(● ガス管 ④ 屋外給水管 ●)</p> <p>ポンプ、屋外設置機器及びビット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。</p> <p>屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または熔融垂鉛めっき仕上げとする。</p> <p>下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。</p> <p>● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質</p> <p>● 風速 ● じんあい ⑤ 飲料水水质 (● 一般飲料水適否検査 ●)</p> <p>● その他水質等 (● 雑用水 ● 空調用流体 ●)</p>																																																								
	22 ステンレス鋼管の接合方法																																																									
	23 溶接配管の検査																																																									
	24 埋設表示																																																									
	25 支持金物・固定金具																																																									
	26 総合試運転調整																																																									
	31 アスベスト含有建材の処理	<p>処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。</p> <p>※ 官公署その他への手続きは、同じ仕様ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <p>● 施工調査 (分析によるアスベスト含有建材の調査)を行う。</p> <p>分析方法はJ I S A 1 4 8 1「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。</p> <p>● アスベスト粉じん濃度測定を行う。</p> <p>(測定時期： 測定場所： 測定点：)</p> <p>● 洗浄設備 (洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。</p> <p>● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。</p> <p>対象箇所 ()</p> <p>工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならぬ補修する。</p> <p>既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>探査方法 ※ 電磁誘導式 ● 放射線透過検査</p>	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																																					
	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																																							
32 補修など																																																										
33 はつり																																																										
34 はつり工事における非破壊検査																																																										
35 室内空気中の化学物質の濃度測定																																																										
36 火災保険等																																																										
37 グリーン購入																																																										
38 鳥取県公共工事環境配慮指針																																																										
39 建築物省エネ法																																																										
40 耐震施工	<p>対象工事</p> <p>設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。</p> <p>(1) 機器の据付け及び取付け</p> <p>設計用水平地震力は、機器の重量 (自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量) [kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設計用標準水平震度</th> <th colspan="2">● 特定の施設</th> <th colspan="2">① 一般の施設</th> </tr> <tr> <th>● 重要機器</th> <th>● 一般機器</th> <th>② 重要機器</th> <th>● 一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">上 層 階 屋上、塔屋</td> <td>機 器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中 間 階</td> <td>機 器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地階・1階</td> <td>機 器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階建以上：上層4階</p> <p>中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの</p> <p>重要機器 ● 換気機器 ● 空調機器 ● 熱源機器 ● 防災機器 ● 監視制御設備 ● 危険物貯蔵装置</p> <p>● 火を使用する設備 ● 避難経路上に設置する機器 ③ 水槽類 (燃料小出槽を含む)</p> <p>● ()</p> <p>(2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>(3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。</p>	設計用標準水平震度	● 特定の施設		① 一般の施設		● 重要機器	● 一般機器	② 重要機器	● 一般機器	上 層 階 屋上、塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0	中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6	地階・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
設計用標準水平震度	● 特定の施設		① 一般の施設																																																							
	● 重要機器	● 一般機器	② 重要機器	● 一般機器																																																						
上 層 階 屋上、塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																					
	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																					
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0																																																					
中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																					
	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																					
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																					
地階・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																					
	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																					
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																					

1 空気調和設備	1 設計用温湿度条件		
	2 冷却水管		
	3 冷水・温水・冷温水管		
	4 膨張・空気抜・補給水管		
	5 蒸気給水管		
	6 蒸気還水管		
	7 油・油用通気管		
	8 冷媒管		
	9 空調用給水管		
	10 空調用排水管		
2 冷暖房設備	11 弁類		
	12 ファンコイルユニット		
	13 ダンパー		
	14 ダクト		
	15 吹出口・吸込口		
	16 チャンパー等		
	17 消音内貼り		
	18 瞬間流量計及び流量測定口		
	19 定風量・変風量ユニット		
	20 温度計		
3 換気設備	21 冷温水管の空気抜き		
	22 空調機用トラップ		
	23 鋼板製煙道		
	24 オイルサービスタンク		
	25 地下オイルタンク		
	26 油面制御装置		
	27 フィルター等付属品		
	28 パッケージ空調機の能力表示		
	29 防振吊り及び支持金物		
	4 排煙設備	1 ダクト	
2 排煙口			
3 排煙口開放及び復帰方式			
4 排煙風量測定			
5 自動制御設備		1 中央監視制御盤装置	
		2 電源装置	
		3 温度調節器等	
		4 計装工事の配線	

衛生器具設備	⑥ ① 衛生器具の参考型番		
	2 小便器用節水装置		
	3 自動水栓		
	4 大便器洗浄弁		
	5 温水洗浄便座		
	6 器具と排水管接続		
	⑦ ① 量水器		
	② 配管材料		
	③ 弁類		
	4 水槽のマンホール		
給湯設備	⑧ ① 配管材料		
	2 弁類		
	3 パイプシャフト内配管の保温		
	4 煙試験		
	⑨ ① 配管材料		
	2 弁類		
	消火設備	1 配管材料	
		2 弁類	
		3 保温	
		4 屋内消火栓	
5 ガス系消火剤の種類			
6 ガス系消火の起動方式			
ガス設備		① 1 都市ガス設備	
		② 配管材料	
		③ ガスメータ	
		4 バルク貯槽	
	5 容器廻りの配管		
	6 容器転倒防止		
	⑦ ガス漏れ警報器		
	浄化槽	1 処理種別及び方式	
		2 型式	
		3 処理能力	
4 放流水の水質			
5 排水方式			
6 埋戻し土			
7 土留め工事			
8 マンホールふた			
9 消毒薬			

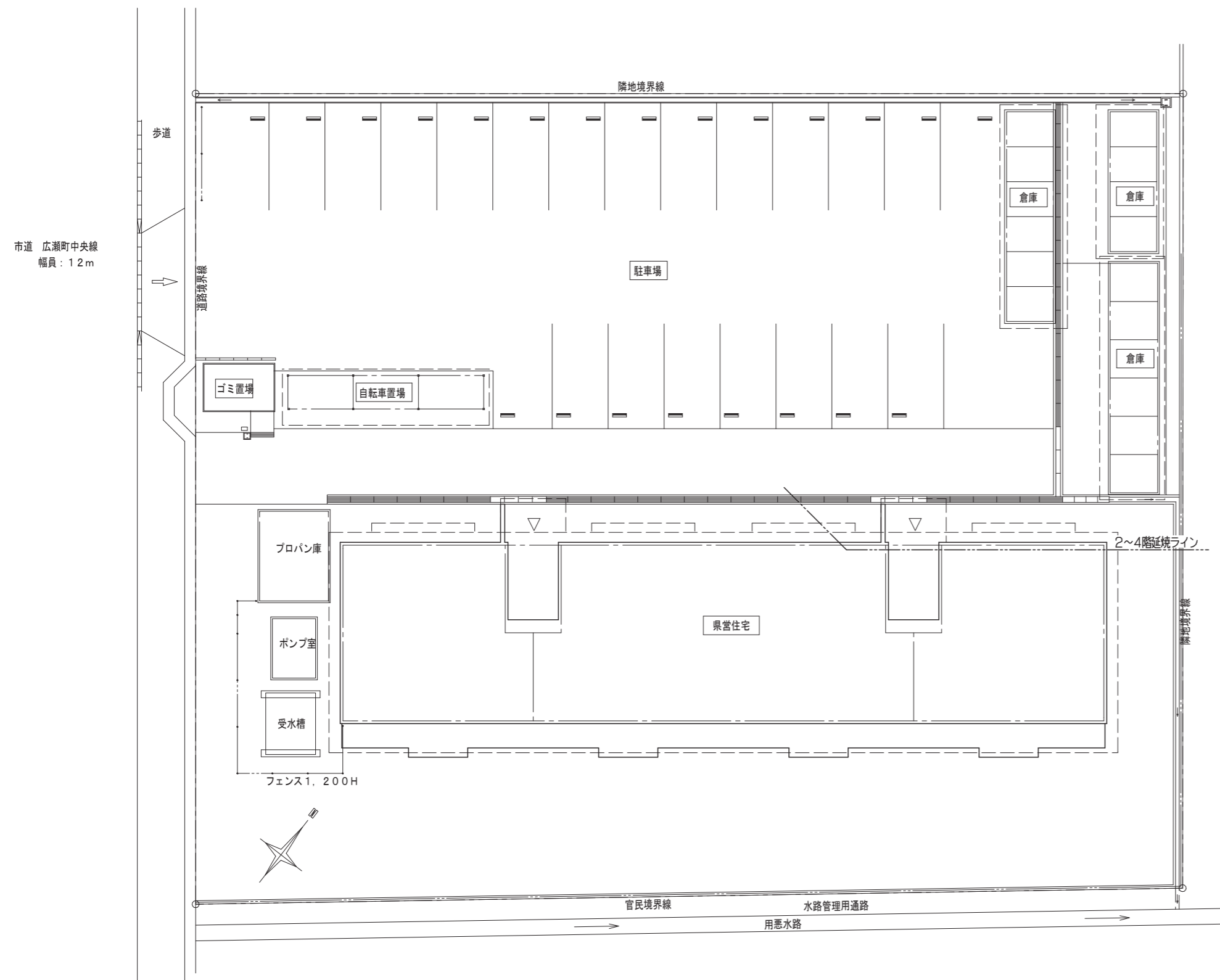
給湯設備	⑥ ① 衛生器具の参考型番	型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。
	2 小便器用節水装置	<p>※ 小便器一体型 ● 小便器分離型</p> <p>● 洗浄水量4リットル/回以下</p> <p>※ 個別感知方式 (● A C電源 ● 自己発電 ● 乾電池) ● 手動式</p> <p>電源供給方式 ● A C電源 ● 自己発電 ● 乾電池</p> <p>操作方式 ● 電気開閉式 (● センサー式 ● タッチスイッチ式)</p> <p>● 手動式</p> <p>洗浄水加温方式 ● 瞬間式 ● 貯湯式</p> <p>※ 標準図 (施工64) ● 標準図 (施工65)</p>
	3 自動水栓	
	4 大便器洗浄弁	
	5 温水洗浄便座	
	6 器具と排水管接続	
	⑦ ① 量水器	<p>● 親メーター ※ 借用 ● 買取 (※ 直読 ● 遠隔表示)</p> <p>② 子メーター ③ 買取 ● 借用 (※ 直読 ④ 遠隔表示)</p> <p>(ア)一般配管 ● SGP-VB ● SGP-PB ● SUS304 ● SUS316</p> <p>● H I V P ● 架橋ポリエチレン管</p> <p>(イ)土間下配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● H I V P ● SUS304 ● SUS316</p> <p>(ウ)地中配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● H I V P ● SUS304 ● SUS316</p> <p>● 水道配水用ポリエチレン管 (75~100A) ● 水道用ポリエチレン二層管 (50A以下)</p> <p>(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。</p> <p>(オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合 (直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。)</p> <p>(カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ● 融着継手 75A以上 ※ 融着継手</p> <p>※ 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。</p> <p>● 5K (受水槽以降の配管に使用) ● 10K (公営水道に直結する配管に使用)</p> <p>④ 公営水道事業者指定の止水栓又は弁 (給水引込部に使用)</p> <p>屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形 (二重蓋含む) とする。</p>
	③ 弁類	
	4 水槽のマンホール	
	排水設備	⑧ ① 配管材料
2 弁類		(イ)屋内雑排水管 ● V P ● R F-V P ● SGP (白) ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火V P
3 パイプシャフト内配管の保温		(ウ)ポンプ排水管 ● V P (水道用) ● H I V P ● 排水用塩ビライニング鋼管 (圧送排水鋼管用継手)
4 煙試験		(エ)通気管 ● V P ● R F-V P ● SGP (白) ● 耐火V P
⑨ ① 配管材料		(オ)屋外排水管 ● V P ● R F-V P ● V U (地中) ● R E P-V U (地中) <p>● R S-V U ● 卵形管 ● コンクリート管</p> <p>3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない</p> <p>※ 施工する ● 施工しない</p> <p>※ 行わなくてもよい ● 図示の系統のみ行う</p>
2 弁類		⑤ SGP-HVA ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管
3 パイプシャフト内配管の保温		● 保温付被覆鋼管 ● 鋼管
4 煙試験		湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。
⑩ ① 配管材料		(ア)一般配管 ● SGP (白) ● STPG
2 弁類		(イ)土間下配管 ● SGP-VS ● STPG-VS
3 保温	(ウ)地中配管 ● SGP-VS ● STPG-VS	
4 屋内消火栓	※ 10K ● 16K	
5 ガス系消火剤の種類	(ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する	
6 ガス系消火の起動方式	(イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する	
ガス設備	1 都市ガス設備	(ウ)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別e3・(ハ)・VIIによる)
	2 配管材料	● 屋内消火栓用 (※ 施工しない ● 施工する) ● スプリングラー用 (※ 施工しない ● 施工する)
	3 ガスメータ	● 連結送水用 (※ 施工しない ● 施工する) ● 連結放水用 (※ 施工しない ● 施工する)
	4 バルク貯槽	● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓 (● 1号 ● 2号)
	5 容器廻りの配管	● 窒素 ● I G-541 ● I G-55 ● H F C-227 e a ● H F C-23
	6 ガス系消火の起動方式	※ 手動 ● 自動手動切替式
	① ガス設備	1 都市ガス設備
	② 配管材料	都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。
	③ ガスメータ	(ア)一般配管 ● SGP (白) ● 合成樹脂被覆鋼管
	4 バルク貯槽	(イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管
5 容器廻りの配管	(ウ)地中配管 ● 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管	
6 容器転倒防止	● 親メーター ※ 借用 ● 買取 (取付け ※ 別途 ● 本工事)	
⑦ ガス漏れ警報器	④ 子メーター ※ 買取 ● 借用 (取付け ※ 本工事 ● 別途) <p>● 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買取</p> <p>● 標準図 (施工73)の ● 要領 (a) ● 要領 (b) ● 要領 (c)</p> <p>● 標準図 (施工74)の ● 要領 (a) ● 要領 (b)</p> <p>● 不要 ● 要 (※ 別途工事 ● 本工事)</p>	
浄化槽	1 処理種別及び方式	● 小規模合併処理 (● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気ろ床接触ばっ気方式 ● 脱窒ろ床接触ばっ気方式 ● その他性能評価を受けた方式 ())
	2 型式	● 合併処理 (● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式)
	3 処理能力	● ユニット型 ● 現場施工型
	4 放流水の水質	● 処理対象人員 人 ● 処理水量 m 3 / d
	5 排水方式	● 流入BOD 2.00mg/L ● 放流水質BOD 2.0mg/L以下
	6 埋戻し土	● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下
	7 土留め工事	※ 自然流下 ● ポンプ排水
	8 マンホールふた	● 砂 ● 根切土の中の良質土
	9 消毒薬	● 不要 ● 要 (図示による) <p>※ 製造者標準仕様 (ロック式) ● MHA型 (ボルト式)</p> <p>3ヶ月相当分を納入する。</p>



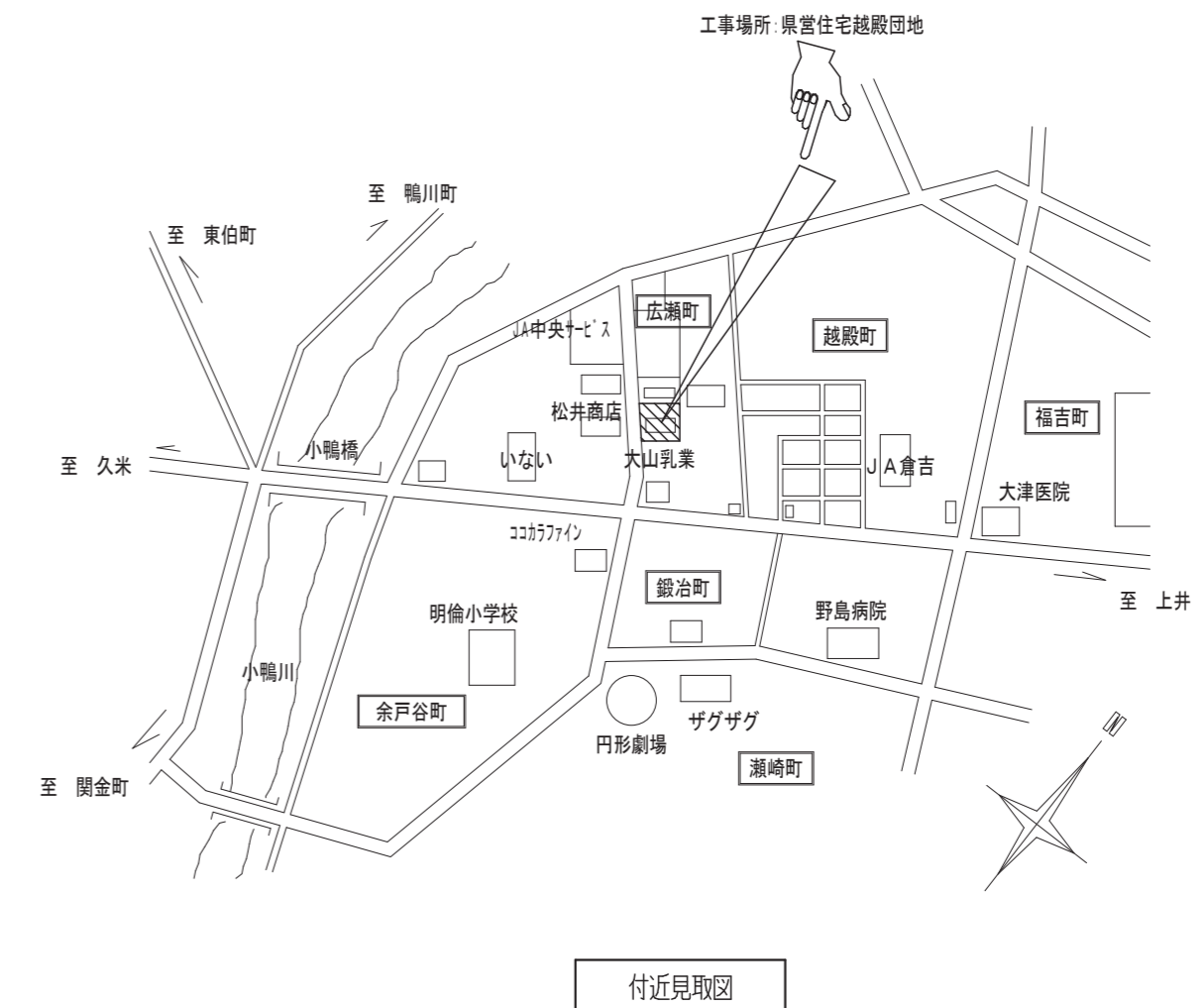
			管理建築士		CHECK	DRAW	県営住宅越殿団地エコ改善工事 (機械設備)	SCALE	No
			一級建築士 第376077号	福田洋之	福田	福田	機械設備工事特記仕様書 (2)		M-02
			担当者	福田洋之					DATE
			設備設計一級建築士 第5962号	福田洋之					

有限会社 福田設備設計

〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669



配置図 S=1/200



鳥取県
令和7年度
J2501317
中部総合事務所

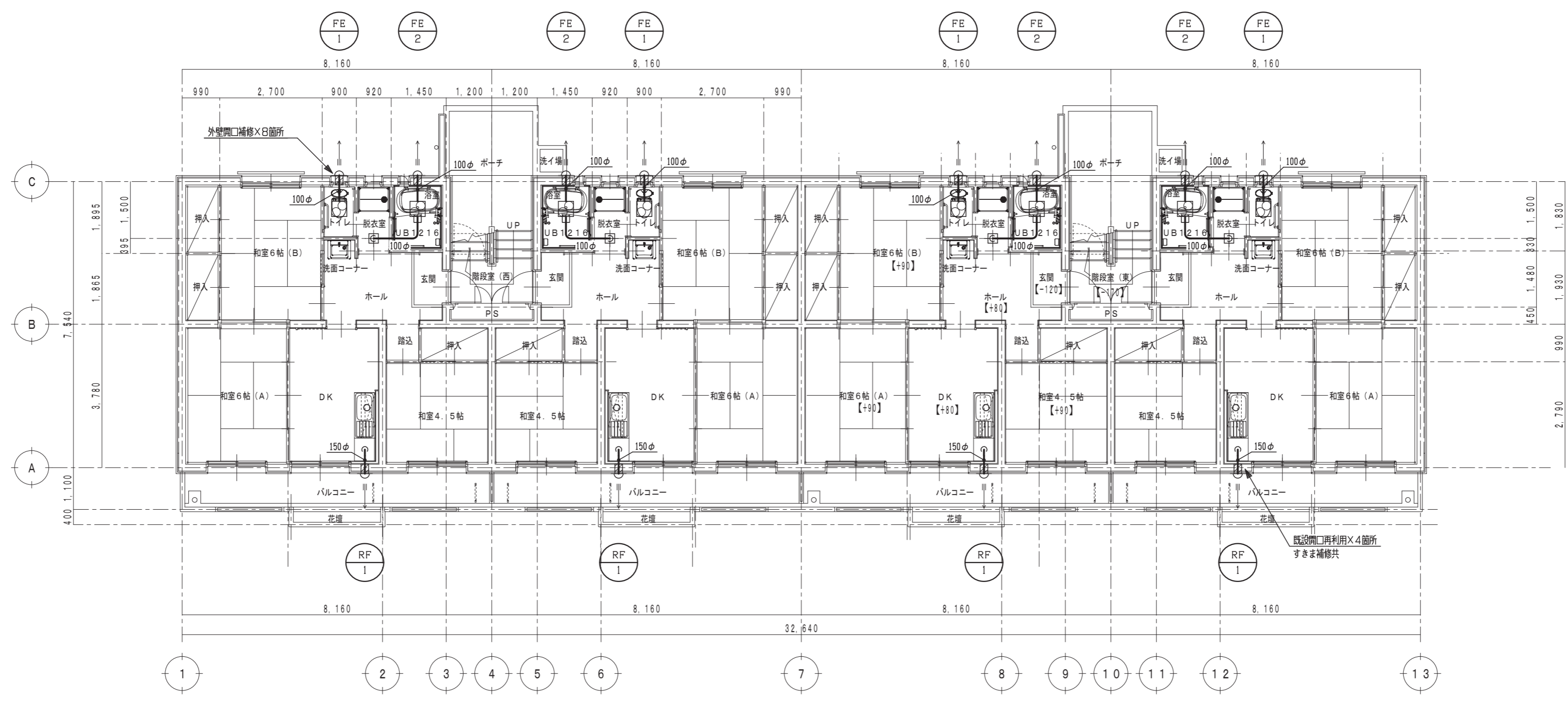
有限会社 福田設備設計 〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669	管理建築士 一級建築士 第376077号 福田洋之	CHECK 福田	DRAW 福田	県営住宅越殿団地エコ改善工事（機械設備） 配置図、付近見取図	SCALE S=1/200	No M-03 DATE 2026.01
	担当者 設備設計一級建築士 第5962号 福田洋之					

機器表

記号	名称	仕様	相 φ	電圧 V	消費電力 W	台数	備考
FE-1	天井埋込換気扇	型式: 低騒音形 風圧式シャッター付 グリル: 樹脂製、本体: 樹脂製 能力: φ100X 70m ³ /hX10Pa 付属品: 天吊金具、深形フード (SUS製、防虫網付) φ100	1	100	9.3	16	24時間換気
FE-2	天井埋込換気扇	型式: 2部屋換気用低騒音形 風圧式シャッター付 グリル: 樹脂製、本体: 樹脂製 能力: φ100X 70m ³ /hX15Pa 付属品: 樹脂製グリル、天吊金具、深形フード (SUS製、防虫網付) φ100	1	100	15.5	16	
RF-1	レンジフードファン	深形フード (SUS製、防虫網付) φ150 本体及び取付は建築工事、ダクト接続、パイプフード取付は設備工事とする				16	
	給気口	本体及び取付、外壁開口補修共建築工事					

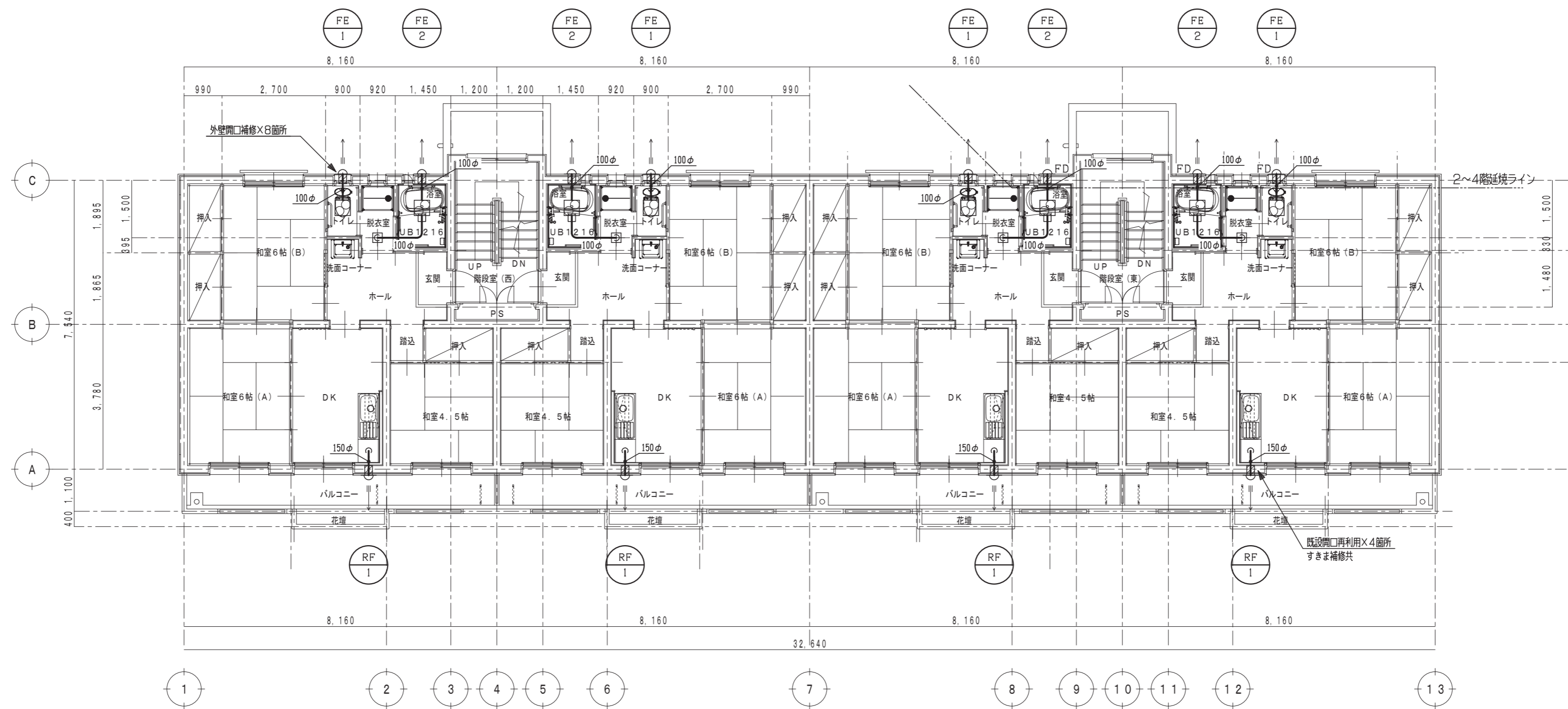
特記事項
・レンジフードファンの排気ダクトには、ロックワールφ25の断熱を行うこと
・既設壁等の開口は、鉄筋位置を調査の上行うこと
・壁等の開口位置は、監督員と協議の上決定すること
・図中、深形フードにFD明記の箇所は防火ダンパー付深形フードを示す
・FE-1用スイッチ (別途電気設備) に24時間換気シール貼付け

火気使用室の換気計算 (プロパンガス)
V=40KQ ※燃焼機器を2口ガスコンログリル付と想定する (Q: 6.58kW)
V=40X0.93m ³ /kWx6.58kW
V=244.78m ³ /h
レンジフードファンの必要換気量は244.78m ³ /hを確保できる機器とする



換気設備 1階 配管図 S=1/100





換気設備 2~4階 配管図 S=1/100



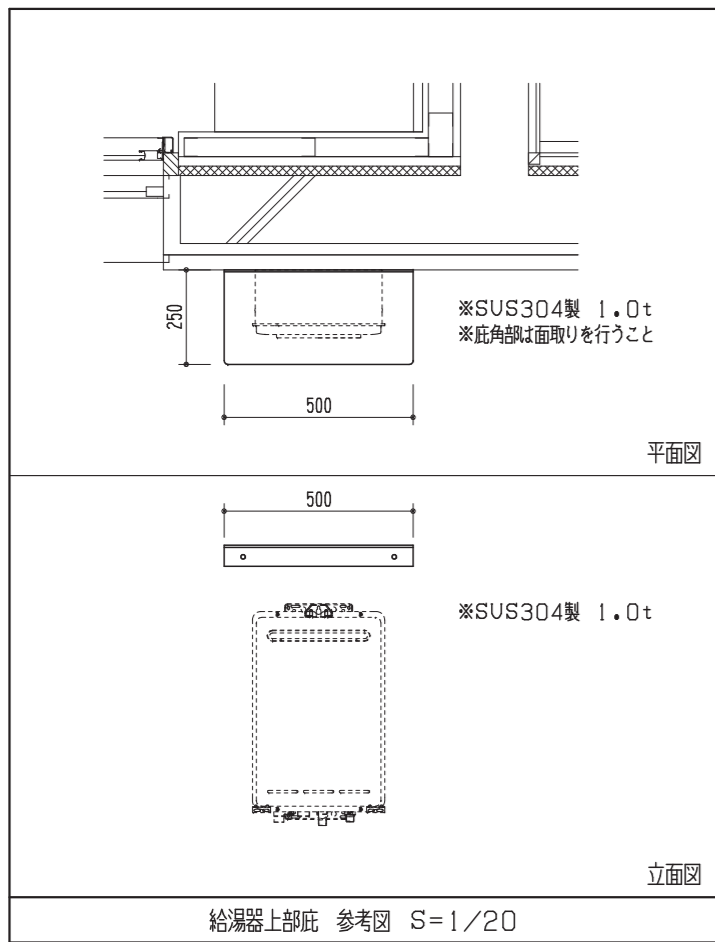
有限会社 福田設備設計 〒689-1115 鳥取市紙子谷1 O番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669	管理建築士 一級建築士 第376077号 福田洋之	CHECK 福田	DRAW 福田	県営住宅越殿団地エコ改善工事 (機械設備)	SCALE S=1/100	No M-05
	担当 設備設計一級建築士 第5962号 福田洋之	換気設備 2~4階 配管図	DATE 2026.01			

器具表

名称	参考品番	仕様(附属品等)	1戸当たり					数量
			トイレ	脱衣室	浴室	DK		
脱脂便器	CS325BPR (壁排水)	SH335BA (手洗付ロータック)、TCF301 (普通便座)、YH51R (ワンタッチ紙巻器)、YT51R (タオル掛け)、Y9206 (塩ビ排水管10°)	1					16
L型手すり	EWT3BG66Z	600×600、天然木φ32 (セーフティタイプ)、固定金具 (軽量鉄骨下地: ボルト 固定)	1					16
洗面化粧台	LDBA060BAGMS1A	開口600タイプ、シングルバー混合水栓、ストリート型止水栓 (床給水) ×2、ストラップ、YT51S4R (タオル掛け)		1				16
化粧鏡	LMBA060B1GDG1G	開口600タイプ、1面鏡、LEDランプ×1、コンセント×1、		1				16
洗濯機用水栓	TW11R			1				16
洗濯機パン	PWSP80J2W	800サイズ、樹脂製吸引トラップ共 (1階×4組)		1				4
洗濯機パン	PWSP80H2W	800サイズ、樹脂製吸引トラップ共 (2~4階×12組) ※かさ上げ用木台建築工事		1				12
シングルバー混合水栓	TKS05301J	台付タイプ、ストリート型止水栓 (床給水) ×2				1		16
ヒューズコック	双口	LPG用 15A×9.5φ					1	16
ユニットバス		(建築工事) シャワーセット、排水トラップ、照明器具 他付属品一式 ※配管接続本工事			(1)			(16)
流し台		(建築工事) 排水トラップ 他付属品一式 ※配管接続本工事				(1)		(16)

機器表

記号	名称	仕様	動力		台数	設置場所	備考
			φ-V	W			
GH-1	ガス給湯器 (給湯専用)	型式: 屋外壁掛型 (給湯専用) オートストップ付、アース付プラグ仕様 能力: 20号 (LPG仕様) ガス消費量: 42.1kW (36, 200kcal/h) 付属品: 台所リモコン (コード8m)、サブリモコン (浴室設置、コード15m) 配管化粧カバー: 1000H (参考寸法)、ガス給湯器用庇 付属品一式	1-100	42 68 (凝結防止ヒータ)	16	各戸バルコニー	リモコン及びコードは別途電気工事へ支給



各樹寸法表 ※管底高さ、樹深さは参考値とし工事着手前に既設樹等のレベル調査を行い工事施工とする

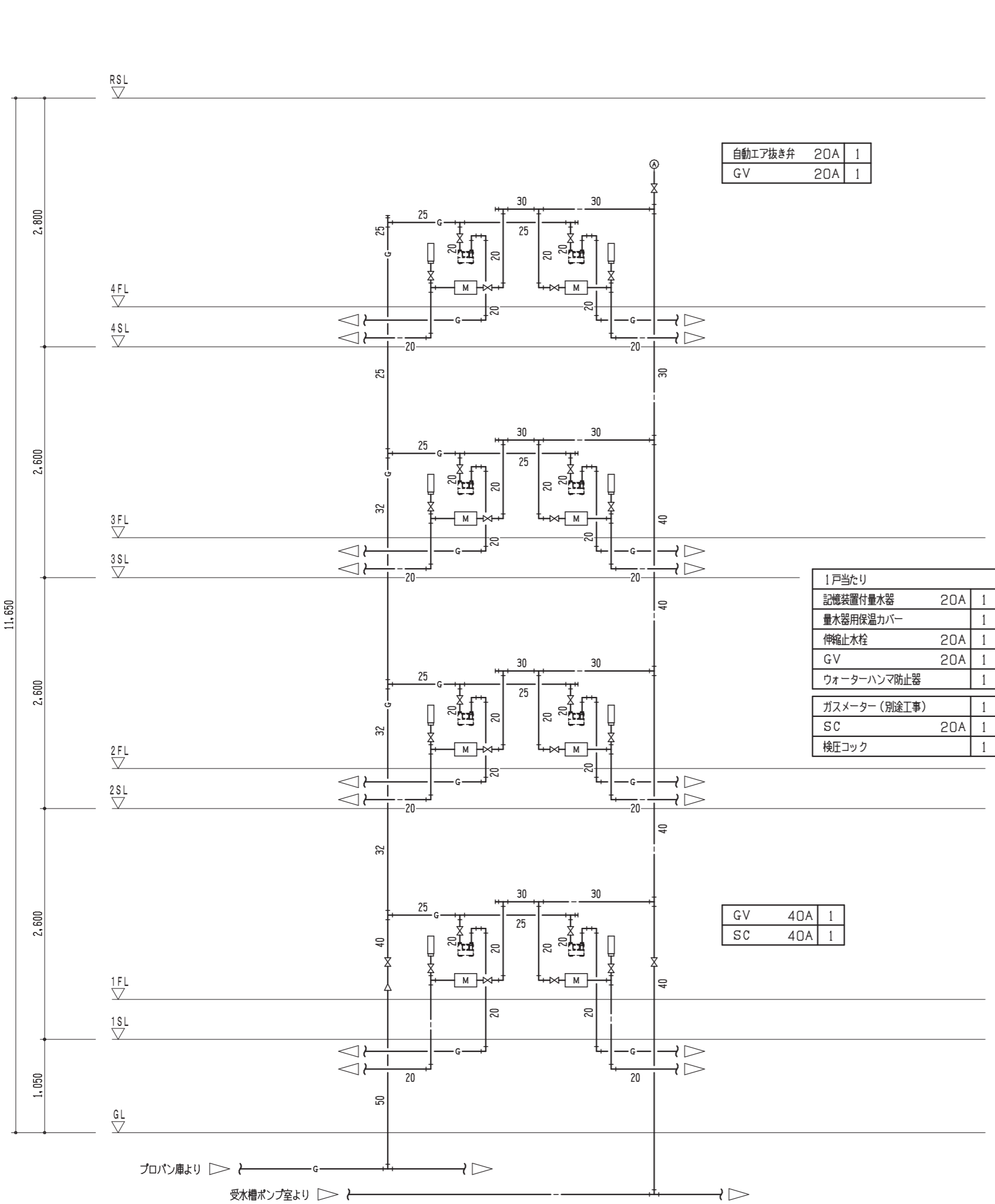
記号	名称	形状寸法	設置地盤高さ	管底高さ	樹深さ
1	小口径汚水樹	90L 100-150 樹脂蓋150	0	-500	500H
2	小口径汚水樹	90YS 100-150 樹脂蓋150	0	-550	550H
3	小口径汚水樹	90YS 100-150 樹脂蓋150	0	-590	590H
4	小口径汚水樹	90L 100-150 樹脂蓋150	0	-590	590H
5	小口径汚水樹	90YS 100-150 樹脂蓋150	0	-630	630H
6	小口径汚水樹	90YS 100-150 樹脂蓋150	0	-670	670H
7	小口径汚水樹	90L 100-150 樹脂蓋150	0	-400	400H
8	小口径汚水樹	90YS 100-150 樹脂蓋150	0	-450	450H
9	小口径汚水樹	DRY 100-150 樹脂蓋150	0	-460→-790	460H→790H
10	小口径汚水樹	90L 100-150 樹脂蓋150	0	-400	400H
11	小口径汚水樹	90YS 100-150 樹脂蓋150	0	-450	450H
12	小口径汚水樹	DRY 100-150 樹脂蓋150	0	-460→-900	460H→900H
13	小口径汚水樹	90L 125-200 保護蓋 (T-8) 200、内蓋共	0	-610	610H
14	小口径汚水樹	90YS 125-200 保護蓋 (T-8) 200、内蓋共	0	-720	720H
15	小口径汚水樹	90YS 125-200 保護蓋 (T-8) 200、内蓋共	0	-840	840H
16	小口径汚水樹	90YS 125-200 保護蓋 (T-8) 200、内蓋共	0	-950	950H
17	小口径汚水樹	45L 125-200 保護蓋 (T-8) 200、内蓋共	0	-970	970H
18	小口径汚水樹	ST 100-150 樹脂蓋150	0	-880	880H
19	小口径汚水樹	90L 100-150 保護蓋 (T-8) 150、内蓋共	160	-910	1070H
20	小口径汚水樹	90L 100-150 保護蓋 (T-8) 150、内蓋共	0	-980	980H
21	小口径汚水樹	45YS 125-200 保護蓋 (T-8) 200、内蓋共	0	-1020	1020H
A	雨水樹	既製角樹 450×450 MHB450	0	-450	450H

管種	施工箇所	使用管種
給水管	PS内主管及び止水栓まで	ステンレス鋼管 SUS
	1階床下 (ピット内)	塩ビライニング鋼管 SGP-VB
	器具立上り、流し台裏、給湯器周り	
	量水器~区画貫通部より1m以内	
	受水槽、加圧ポンプ周り	保温付架橋ポリエチレン管 PEX
スラブ転がし		
	地中埋設	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 HIVP
給湯管	1階床下 (ピット内)	耐熱塩ビライニング鋼管 SGP-HVA
	流し台裏、給湯器周り	
	スラブ転がし	保温付架橋ポリエチレン管 PEX
雑排水・汚水・雨水管	1階床下 (ピット内)	硬質塩化ビニル管 VP
	受水槽周り屋外露出	
	屋内隠ぺい部及びスラブ転がし	
	屋外露出	カラー硬質塩化ビニル管 カラーVP (図中C明記)
	地中埋設	耐熱性硬質塩化ビニル管 耐火VP (図中D明記)
	硬質塩化ビニル管 VU	
ガス管	スラブ転がし	配管用炭素鋼鋼管 SGP-白
	PS内、屋外露出、流し台裏	
	1階床下 (ピット内)	ポリエチレン被覆鋼管 PLS
	地中埋設	ガス用ポリエチレン管 PE

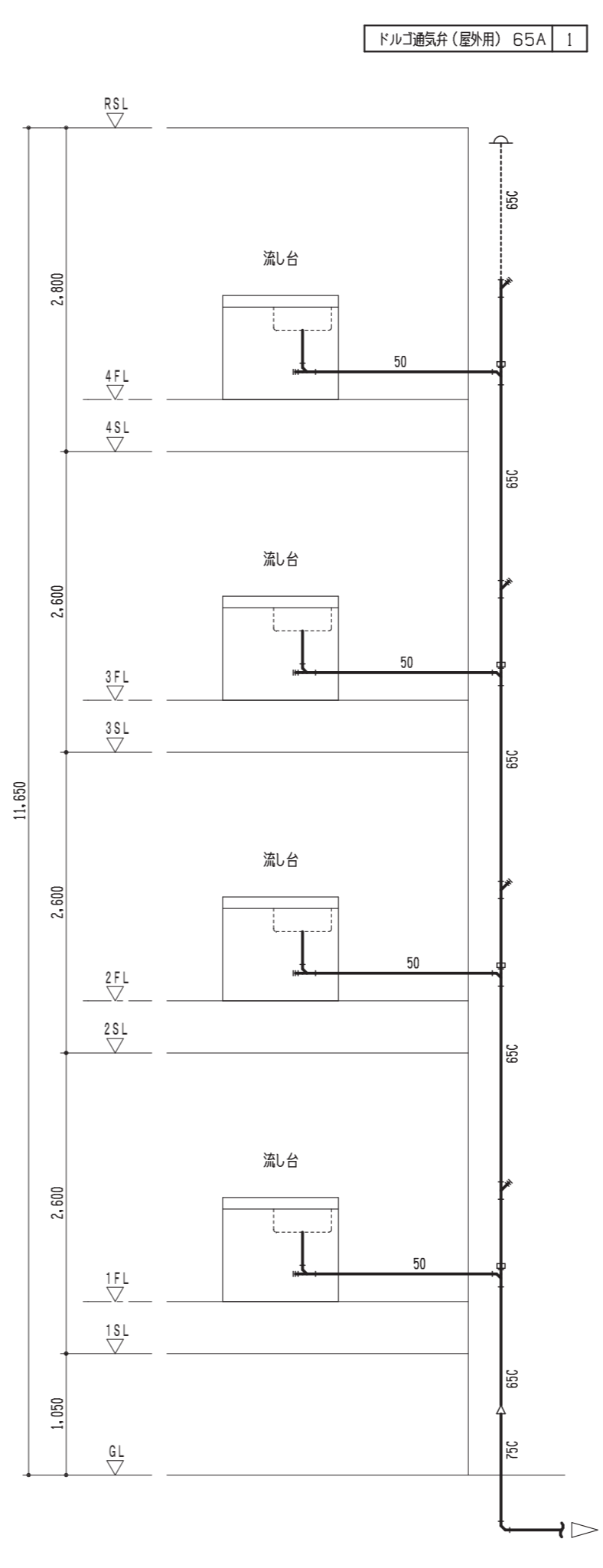
管種	施工箇所	使用管種
給水管	住戸内	保温チューブ@10mm (架橋ポリエチレン管は管付層の被覆@10mmとする)
	1階床下 (ピット内)	保温チューブ@20mm (32A以上はポリスチレンフォーム+着色アルミガラスクロス)
	屋外露出	ポリスチレンフォーム+ステンレス鋼板
	ガス給湯器配管カバー内	保温チューブ@20mm
	PS内 (枝管、量水器廻り)	保温チューブ@20mm
	PS内 (主管)	ポリスチレンフォーム+アルミガラスクロス化粧保温筒
	ポンプ室内露出配管	ポリスチレンフォーム+アルミガラスクロス化粧保温筒
給湯管	住戸内	保温チューブ@10mm (架橋ポリエチレン管は管付層の被覆@10mmとする)
	ガス給湯器配管カバー内	保温チューブ@20mm
	1階床下 (ピット内)	保温チューブ@20mm
ガス管	PS内	不要
	屋外露出	サビ止め+調合ペイント2回塗り
	ガス給湯器配管カバー内	サビ止め+調合ペイント2回塗り

特記事項
<ul style="list-style-type: none"> 1階床下 (住戸内) 配管のうちスラブの無い部分は、地中梁に三角ブラケット等 (市販品、SUS) を設置し配管する 1階床下 (住戸内) 配管のうちスラブのある部分は、スラブに吊架配管する 流し台用給水管、給湯管、ガス管、排水管は流し台裏配管とし交差をしないように施工する (施工図にて詳細図を作成のこと) ユニットバス排水トラップ、水栓は別途建築工事とし、接続は本工事とする 2階以上の住戸内架橋ポリエチレンはスラブ転がしとし、空腔内は塩ビライニング鋼管とする ガス給湯器を除く、各給水、給湯管の口径は15Aとする 架橋ポリエチレンは分岐工法とし、養生はメカニカル養生を使用する 各住戸用量水器から住戸壁を貫通する給水管材質は、その壁より1.0mまでをSGP-VBとし、その後架橋ポリエチレン管に変換する 既設壁等の開口は、鉄筋位置を調査の上行うこと (やむをえず鉄筋を切断した場合、補強は別途建築工事とする) 壁等の開口箇所は開口位置を、監督員と協議の上決定すること 外壁貫通部配管の外壁断熱材とのすき間埋め補強は別途建築工事とする 外壁部、はつり補修等は無収縮モルタルにて充填を行う 図中既設配管の口径、ルート等は既設調査を行い施工すること 図中器具等の品番は参考とし、メーカー等を規定しないものとする 施工に必要な内外部の足場 (脚立足場を除く) は原則として別途建築工事の足場を利用すること 屋外露出部分の耐火VP管は塗装を行うこと

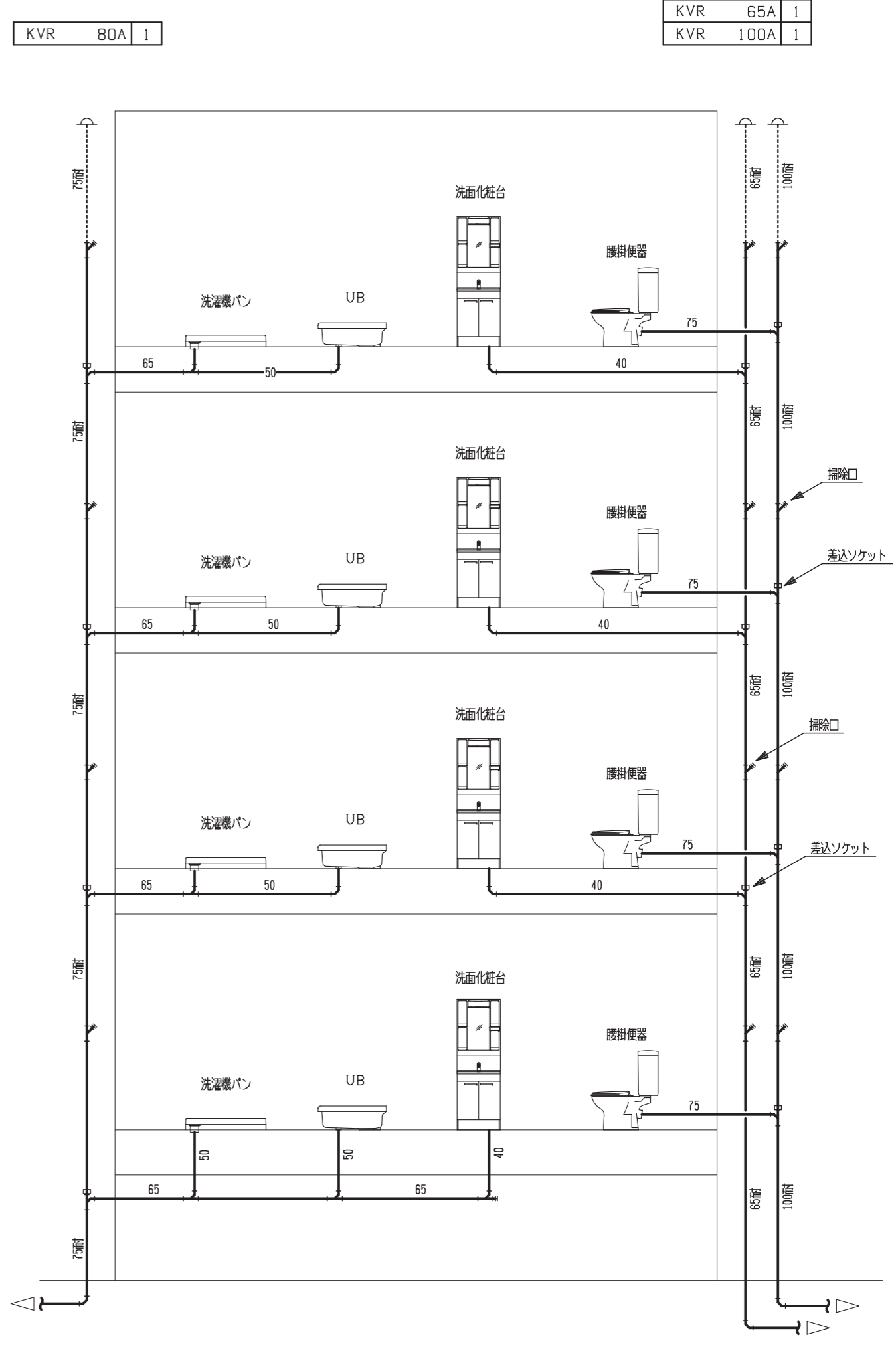




各住戸PS系統図
(2系統)



衛生設備 配管系統図



各住戸排水系統図
(4系統)

フルゴ連気弁 (屋外用) 65A 1

KVR 80A 1

KVR 65A 1
KVR 100A 1

自動エア抜き弁 20A 1
GV 20A 1

1戸当たり
記憶装置付量水器 20A 1
量水器用保温カバー 1
伸縮止水栓 20A 1
GV 20A 1
ウォーターハンマ防止器 1
ガスメーター (別途工事) 1
SC 20A 1
検圧コック 1

GV 40A 1
SC 40A 1

プロパン庫より
受水槽ポンプ室より

有限会社 福田設備設計
〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 福田洋之
一級建築士 第376077号
担当者 福田洋之
設備設計一級建築士 第5962号

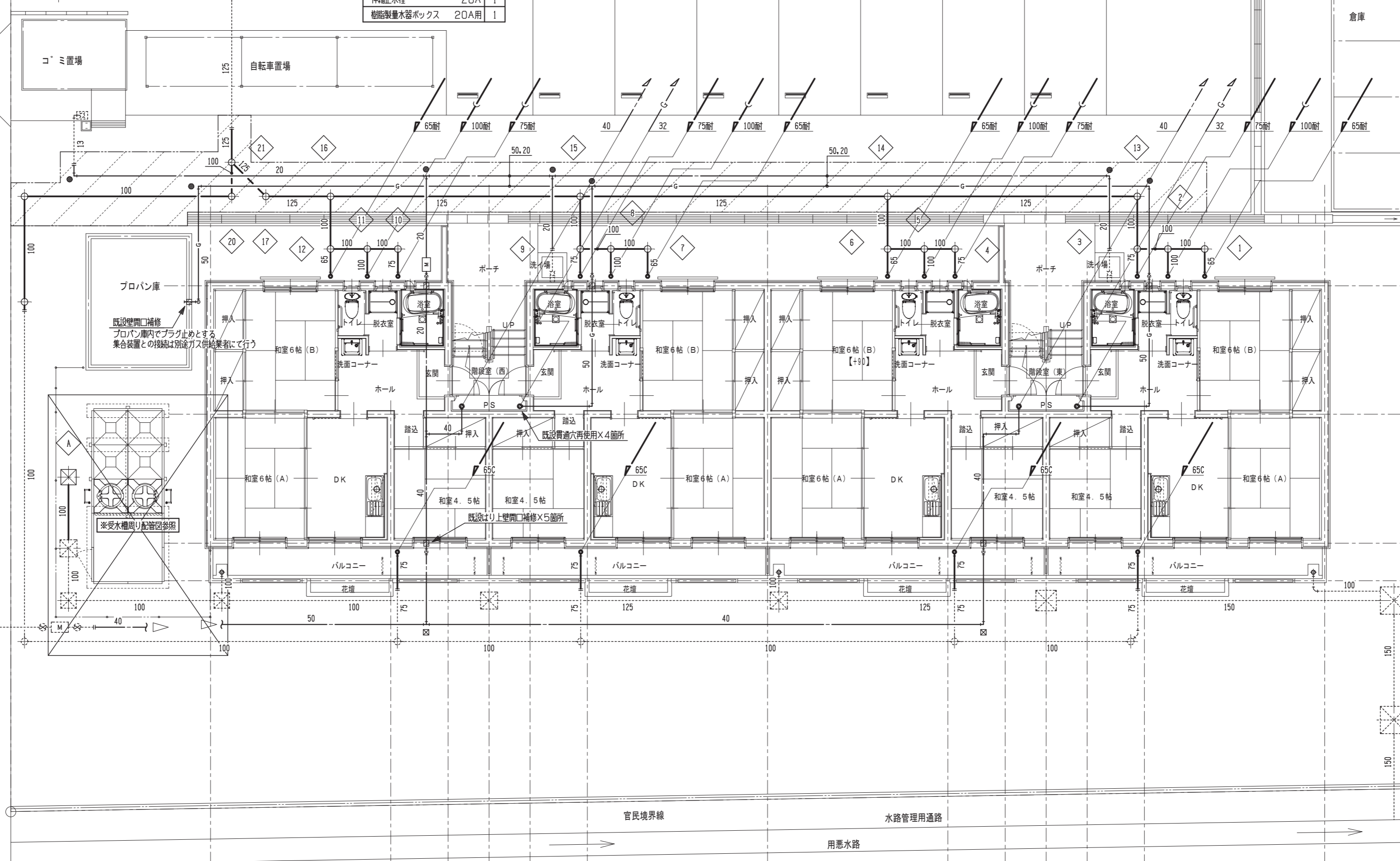
CHECK 福田
DRAW 福田

県営住宅越殿団地エコ改善工事 (機械設備)
衛生設備 配管系統図

SCALE
No M-07
DATE 2026.01

鳥取県
令和7年度
J2501317
中部総合事務所

共有用		
記憶装置付量水器	20A	1
停給止水栓	20A	1
樹脂製量水器ボックス	20A用	1



凡例	
-----	既設配管を示す
-----	既設管への接続部を示す
☒	埋設表示杭 (RC製) を示す
●	埋設表示ピンを示す
▨	コンクリート舗装復旧範囲を示す (C-15-15)

衛生設備 1階、屋外 配管図 S=1/100



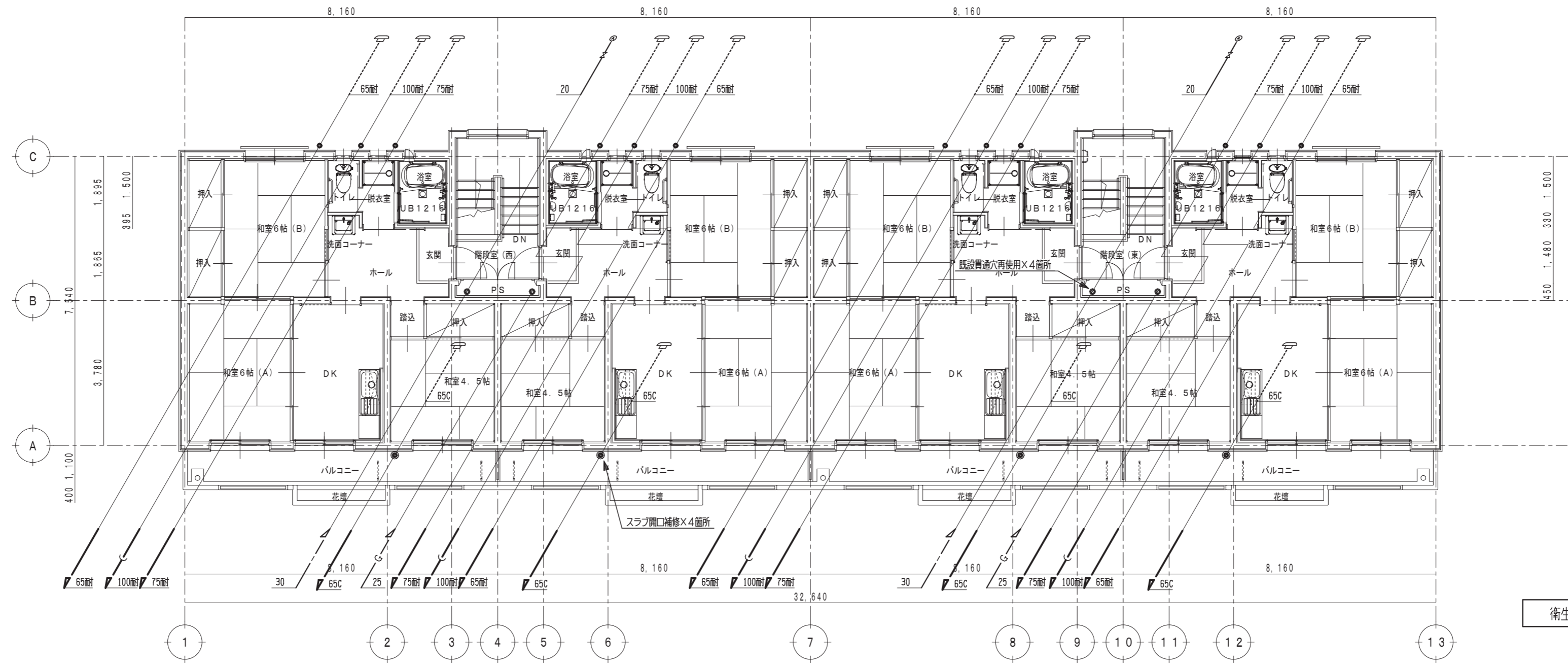
有限会社 **福田設備設計**
 〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士
 一級建築士 第376077号 福田洋之
 担当者
 設備設計一級建築士 第5962号 福田洋之

CHECK DRAW
福田 **福田**

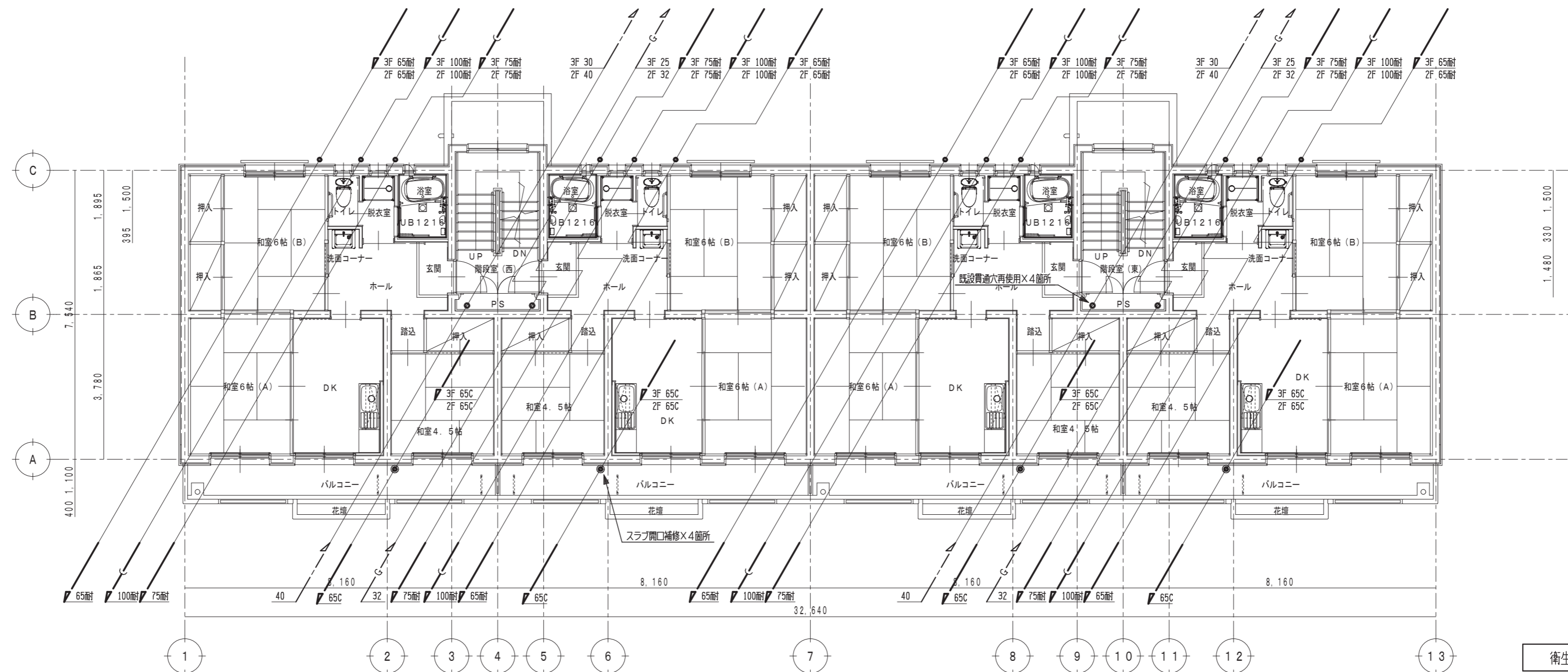
県営住宅越殿団地工コ改善工事 (機械設備)
 衛生設備 1階、屋外 配管図

SCALE No
 S=1/100 M-08
 DATE
 2026.01



自動工下抜き弁	20A	2
GV	20A	2
KVR	100A	4
KVR	80A	4
KVR	65A	4
トルコ通気弁	65A	4

衛生設備 4階 配管図 S=1/100



衛生設備 2、3階 配管図 S=1/100



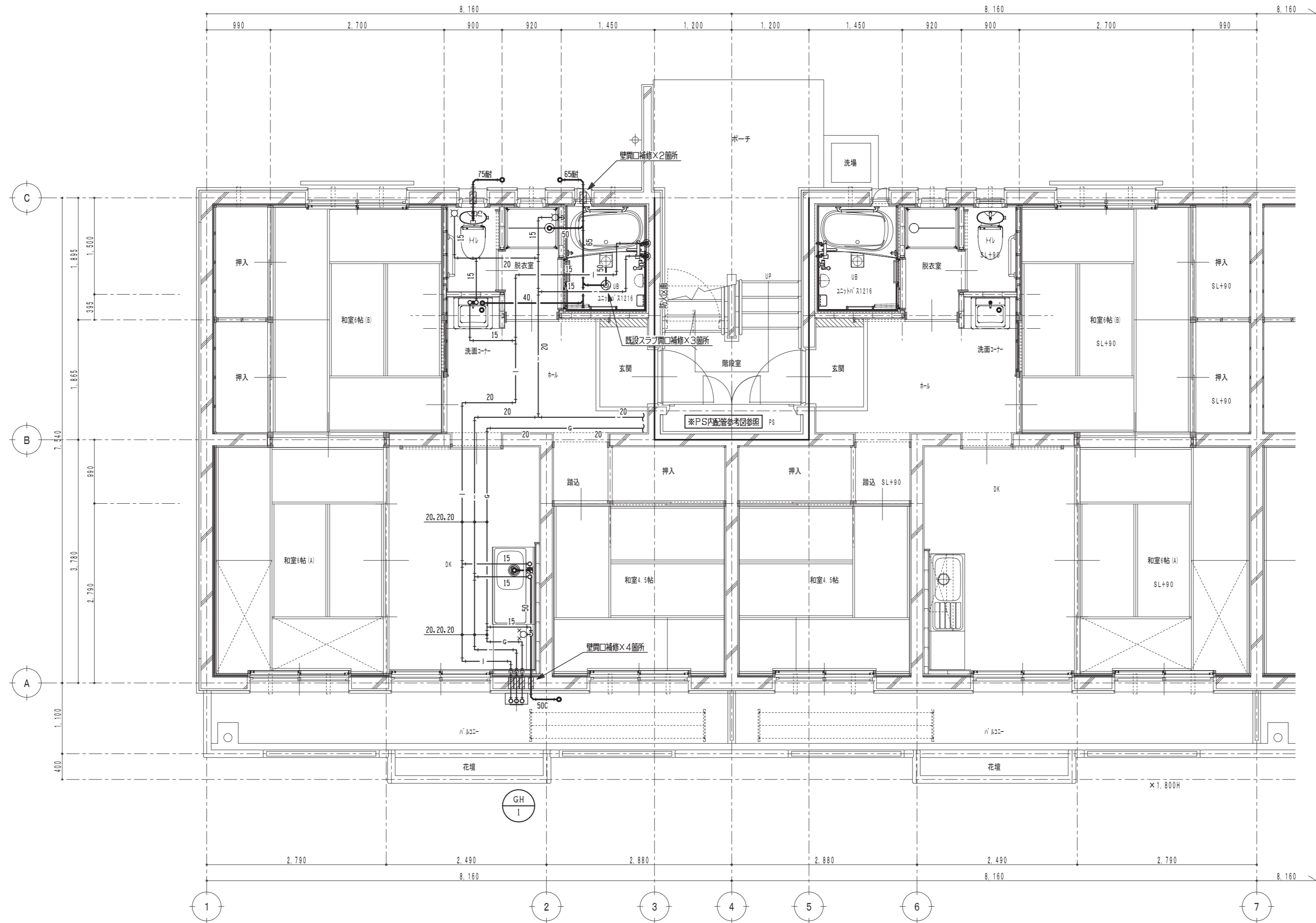
有限会社 福田設備設計
 〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 福田洋之
 一級建築士 第376077号
 担当者 福田洋之
 設備設計一級建築士 第5962号

CHECK 福田
 DRAW 福田

県営住宅越殿団地エコ改善工事 (機械設備)
 衛生設備 2~4階 配管図

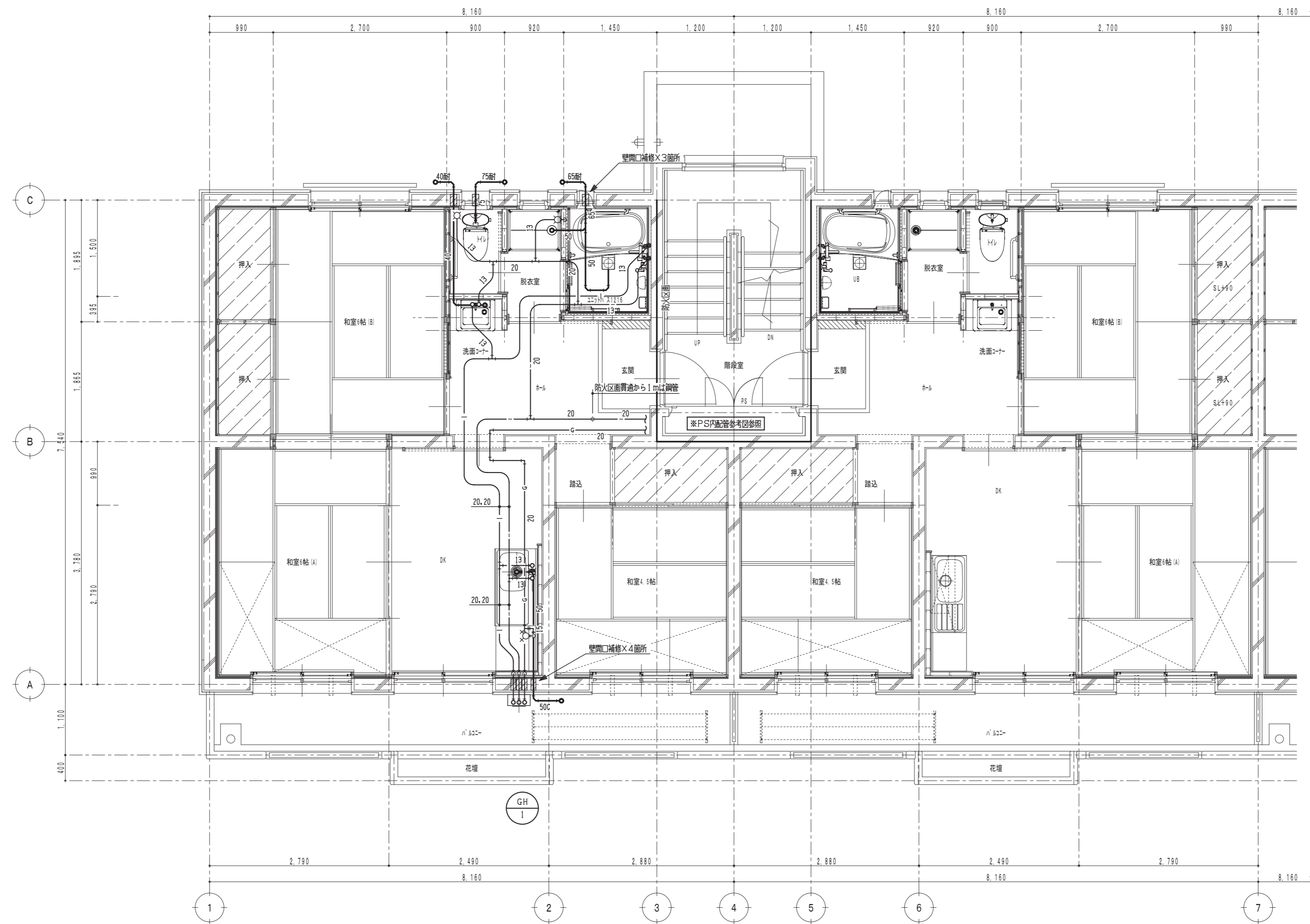
SCALE S=1/100
 No. M-09
 DATE 2026.01



衛生設備 1階 住戸内配管図 S=1/50



株式会社 福田設備設計 〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669	管理建築士 一級建築士 第376077号 担当者 設備設計一級建築士 第5962号	福田洋之 福田洋之	CHECK 福田	DRAW 福田	県営住宅越殿団地エコ改善工事 (機械設備) 衛生設備 1階 住戸内配管図	SCALE S=1/50	No M-10 DATE 2026.01



衛生設備 2~4階 住戸内配管図 S=1/50



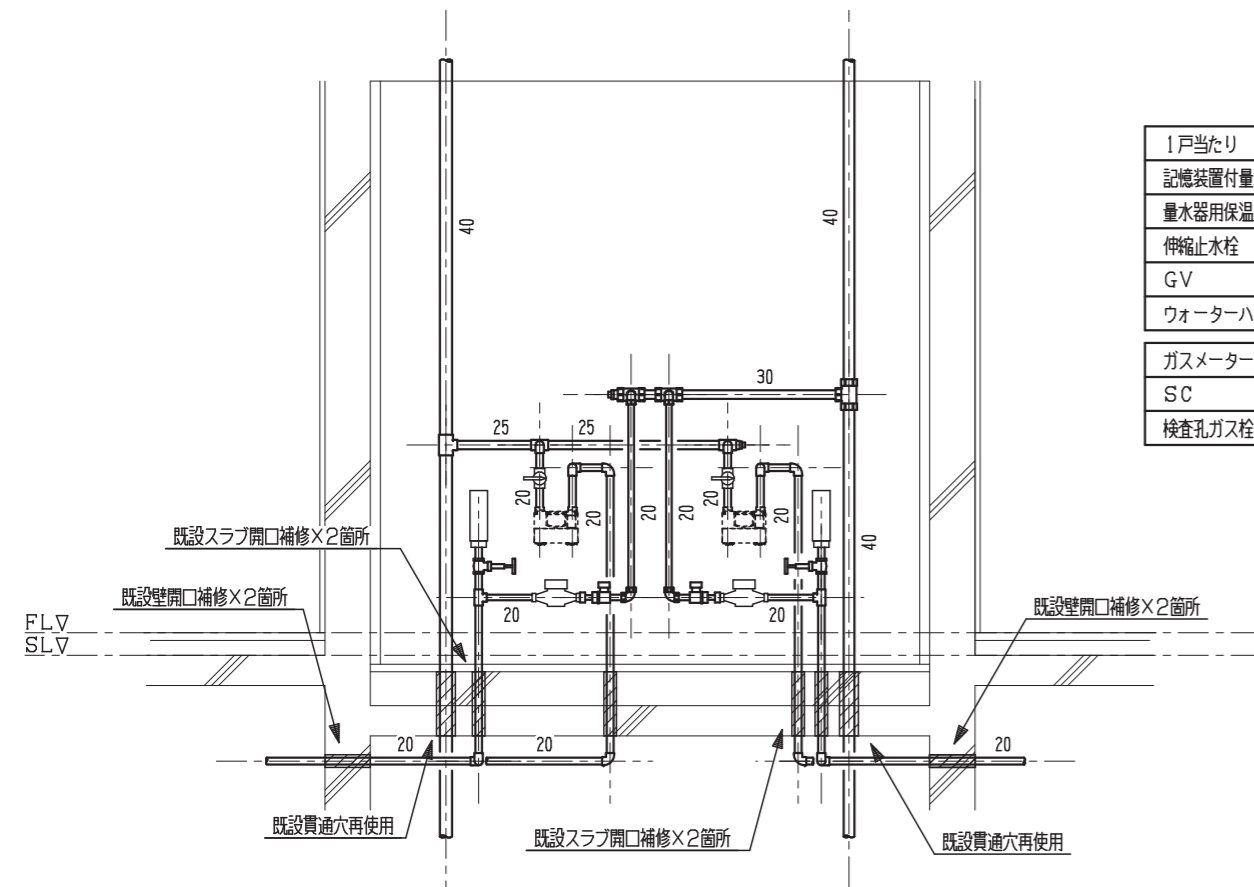
有限会社 福田設備設計
 〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 福田洋之
 一級建築士 第376077号
 担当者 福田洋之
 設備設計一級建築士 第5962号

CHECK 福田
 DRAW 福田

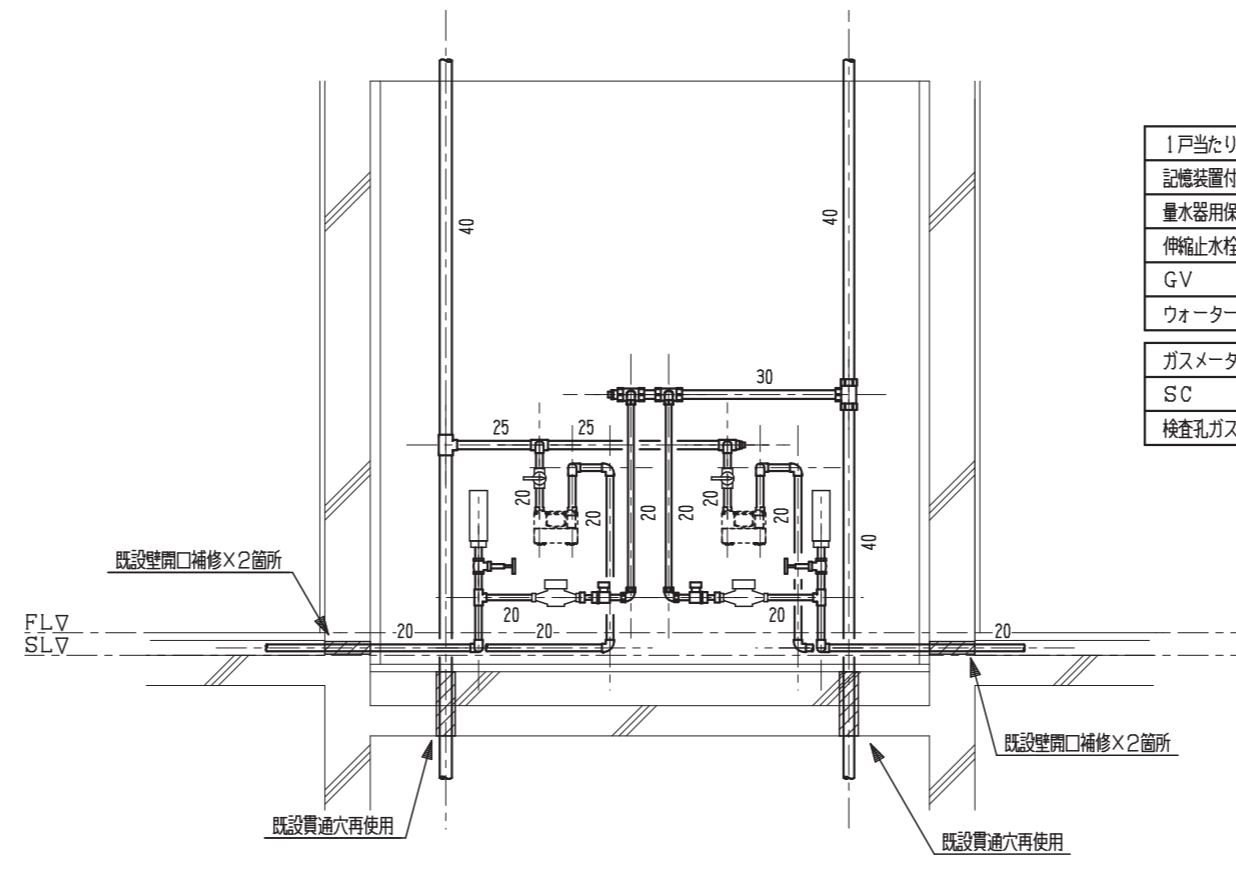
県営住宅越殿団地工コ改善工事 (機械設備)
 衛生設備 2~4階 住戸内配管図

SCALE S=1/50
 No M-11
 DATE 2026.01



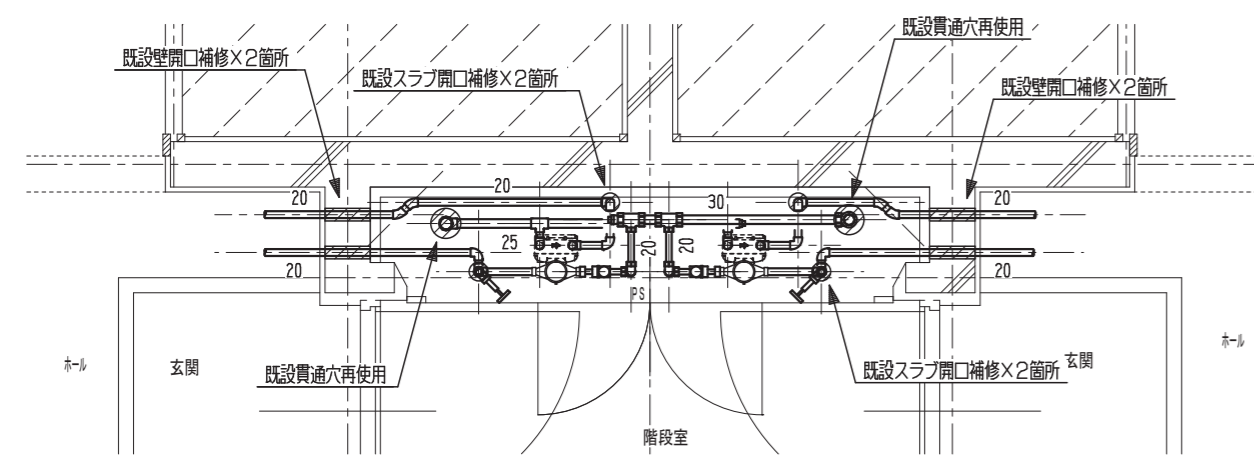
1戸当たり			
記憶装置付量水器	20A	1	
量水器用保温カバー		1	
伸縮止水栓	20A	1	
GV	20A	1	
ウォーターハンマ防止器		1	
ガスメーター (別途工事)			
SC	20A	1	
検査孔ガス栓		1	

1階断面図

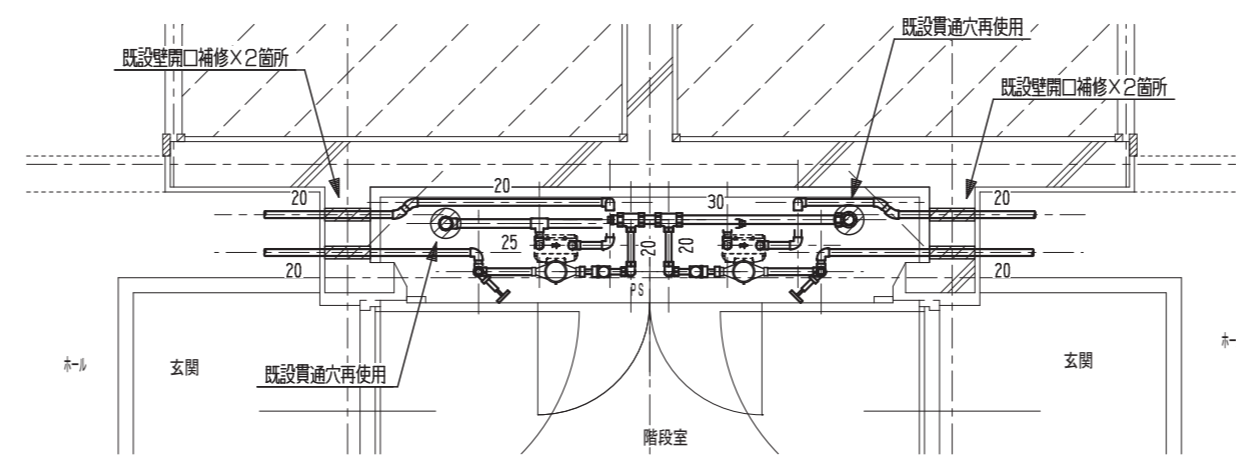


1戸当たり			
記憶装置付量水器	20A	1	
量水器用保温カバー		1	
伸縮止水栓	20A	1	
GV	20A	1	
ウォーターハンマ防止器		1	
ガスメーター (別途工事)			
SC	20A	1	
検査孔ガス栓		1	

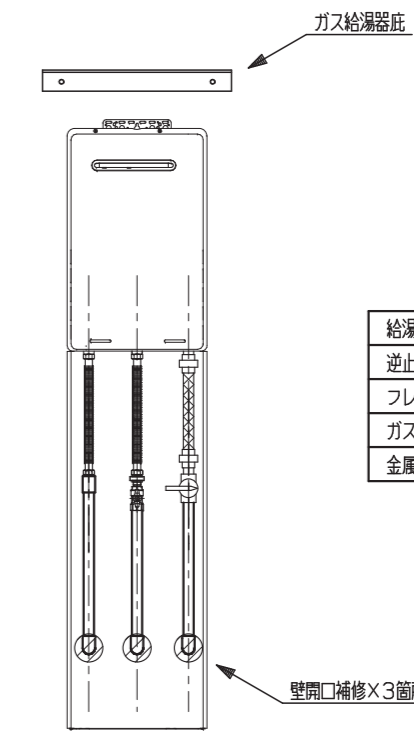
2~4階断面図



1階平面図



2~4階平面図



給湯器周り (1戸当たり)			
逆止弁付ボールバルブ	20A	1	
フレキチューブ (SUS)	300LX20A	2	
ガスコック	20A	1	
金属フレキホース	300LX20A	1	

ガス給湯器周り参考図

衛生設備 PS内 配管参考図 S=1/30

有限会社 福田設備設計

〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 福田洋之
 一級建築士 第376077号
 担当者 福田洋之
 設備設計一級建築士 第5962号

CHECK DRAW
 福田 福田

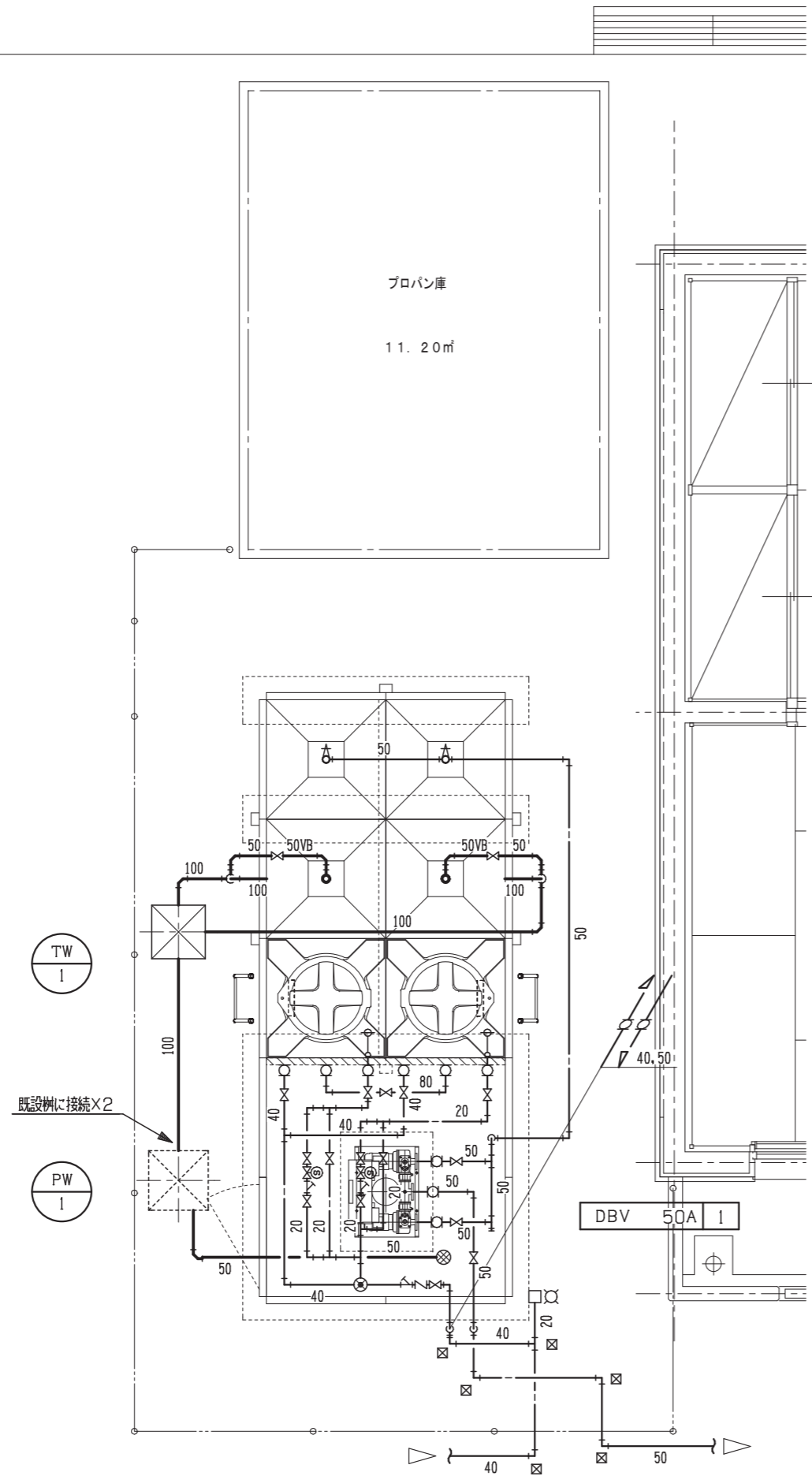
県営住宅越殿団地エコ改善工事 (機械設備)
 衛生設備 PS内 配管参考図

SCALE
 S=1/30

No. M-12
 DATE 2026.01



市道 広瀬町中央線
幅員：12m



衛生設備 受水槽周り配管図 S=1/50

機器表

記号	名称	仕様	動力		台数	設置場所	備考
			φ-V	kW			
TW-1	受水槽	形式：FRP製パネル形ポンプ室付、2槽式、外補強型 寸法：水槽部(保温型) 2,000×3,000×2,000H(中仕切3,000×2,000H) ポンプ室部 2,000×2,000×2,000H 容量：12.0m ³ (呼称) 耐震強度：KH=1.0G 耐雪：積雪100cm未満(20N/m ²) 付属品：梯子(内:PVC、外:亜鉛メッキドブ溝)、マンホール600φ(密閉式、防凍蓋継付)、 耐雪型通気口(防虫網付)、ポールタップ及び吐水口用防凍筒 ~各2個 電極座(カバー、防凍筒)~各4個、ポンプ室給排気ガラリ、ドアストッパー、衝撃吸収式逆止弁 鋼製平架台(溶融亜鉛メッキ仕上げ)、配管及び電気配管用支持架台付 他付属品共 ※組立用ボルト、ナットは全てSUS製とする(購入、組立共)			1	屋外	国土交通省仕様 コンクリート基礎(建築工事)
PW-1	給水加圧ポンプユニット	形式：指定末端圧力一定給水ユニット、インバータ方式、自動交互運転 能力：φ32×φ40×130L/min×25m 付属品：制御盤(インバータ、漏電遮断器、ACリアクトル、ノイズフィルタ、雷サージ対策)、 無電圧接点外部出力端子(ポンプ運転、ポンプ故障、受水槽警報)、凍結防止ヒータ、 防振架台、バトライト用有電圧端子(1φ200V)、他付属品共	3-200	1.1	1	受水槽ポンプ室内	国土交通省仕様 コンクリート基礎(建築工事)

TW-1 周り(出水側)			
BV(ナイロン) 10K	50A	2	
FJ(ゴム円筒)	50A	2	

TW-1 周り(バイパス)			
BV(ナイロン) 10K	80A	1	
FJ(ゴム円筒)	80A	2	

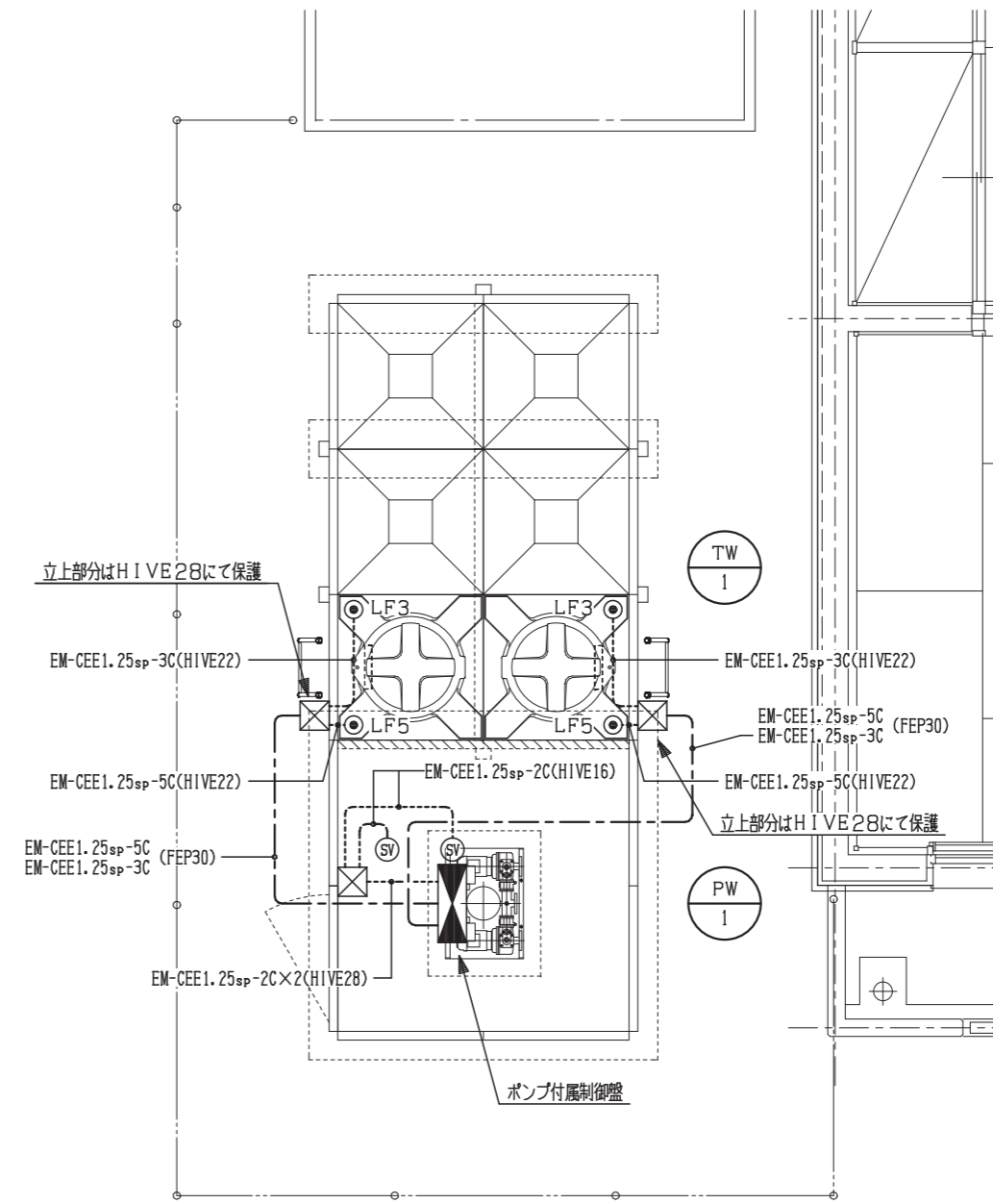
TW-1 周り(入水側)			
GV10K	40A	3	
GV10K	20A	8	
CV10K	40A	1	
YST	40A	1	
YST	20A	2	
定水位弁	40A	1	
電磁弁	20A	2	
FJ(ゴム円筒)	40A	2	
FJ(ゴム円筒)	20A	2	
BT(単式)	20A	2	

TW-1 周り(排水)			
GV5K	50A	2	
防虫網	100A	2	

PW-1 周り			
BV(ナイロン) 10K	50A	3	
FJ(球型) 10K	50A	3	

TW-1 周り(屋外)			
FJ(ゴム円筒)	40A	1	
FJ(ゴム円筒)	50A	1	

キー式ホーム水栓	T200CSNR13	1	
水栓柱(樹脂製)	900H	1	



凡例	
● LF3	電極 3P
● LF5	電極 5P
⊠	P・B SS-V200×200×100(WP)
Ⓢ	電磁弁 (定水位弁周り付属品)

衛生設備 受水槽周り計装図 S=1/50

鳥取県
令和7年度
J2501317
中部総合事務所

有限会社 福田設備設計

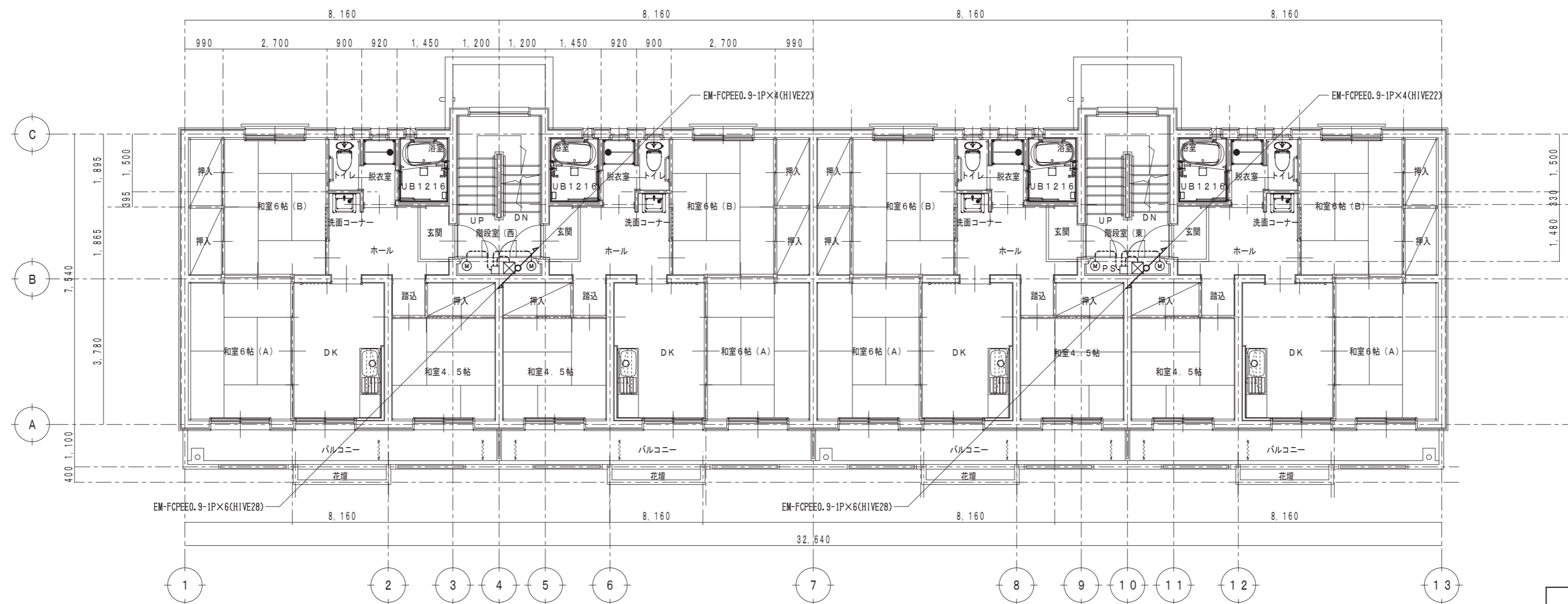
〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士
一級建築士 第376077号 福田洋之
担当者
設備設計一級建築士 第5962号 福田洋之

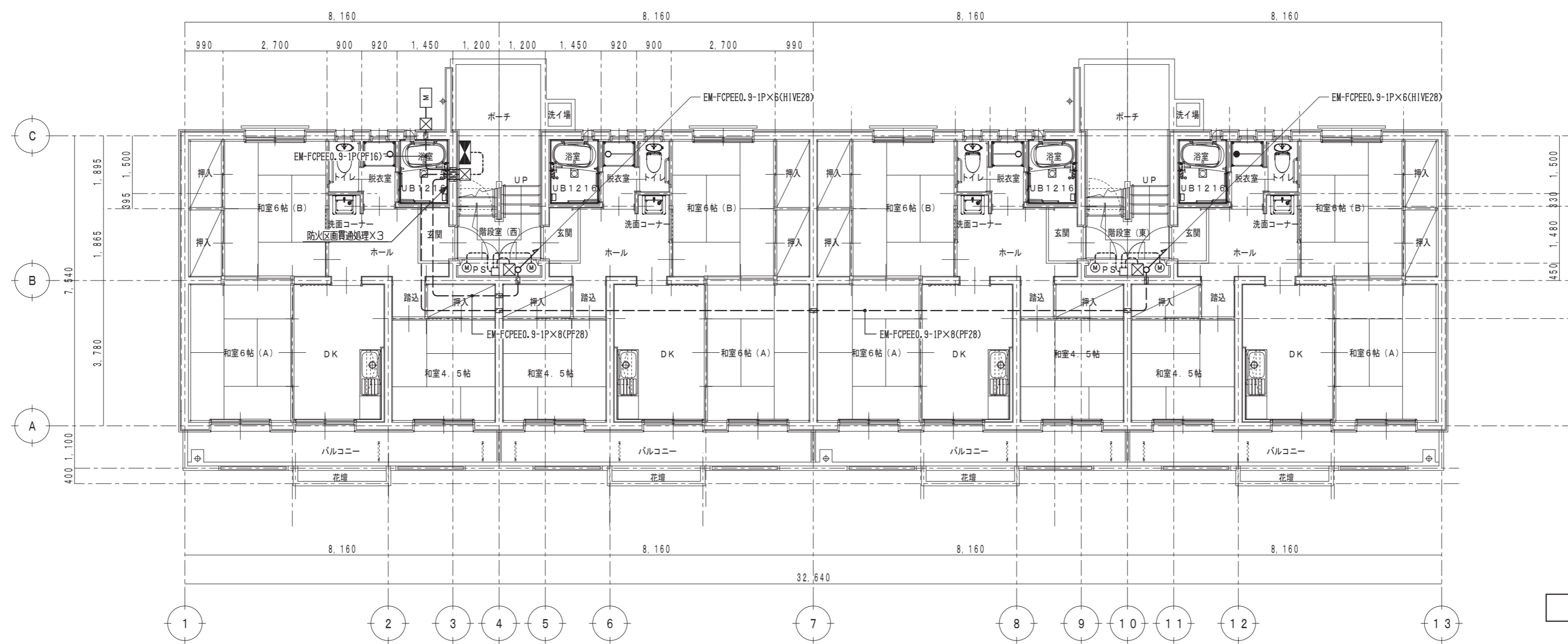
CHECK DRAW
福田 福田

県営住宅越殿団地エコ改善工事(機械設備)
衛生設備 受水槽周り配管図、配線図

SCALE No
S=1/50 M-13
DATE
2026.01



集中検針設備 2階 配線図 S=1/100



集中検針設備 1階 配線図 S=1/100

鳥取県
令和7年度
J2501317
中部総合事務所

有限会社 福田設備設計

〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

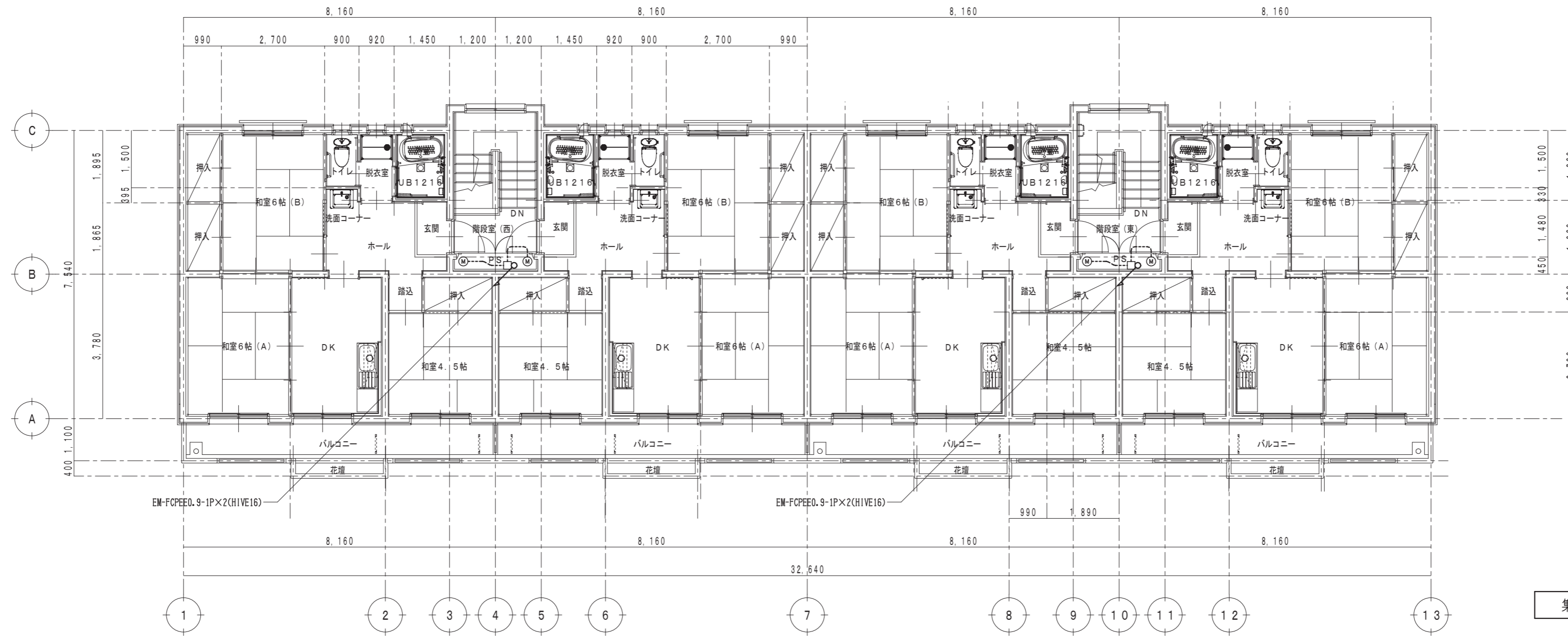
管理建築士 福田洋之
一級建築士 第376077号
担当者 福田洋之
設備設計一級建築士 第5962号

CHECK 福田
DRAW 福田

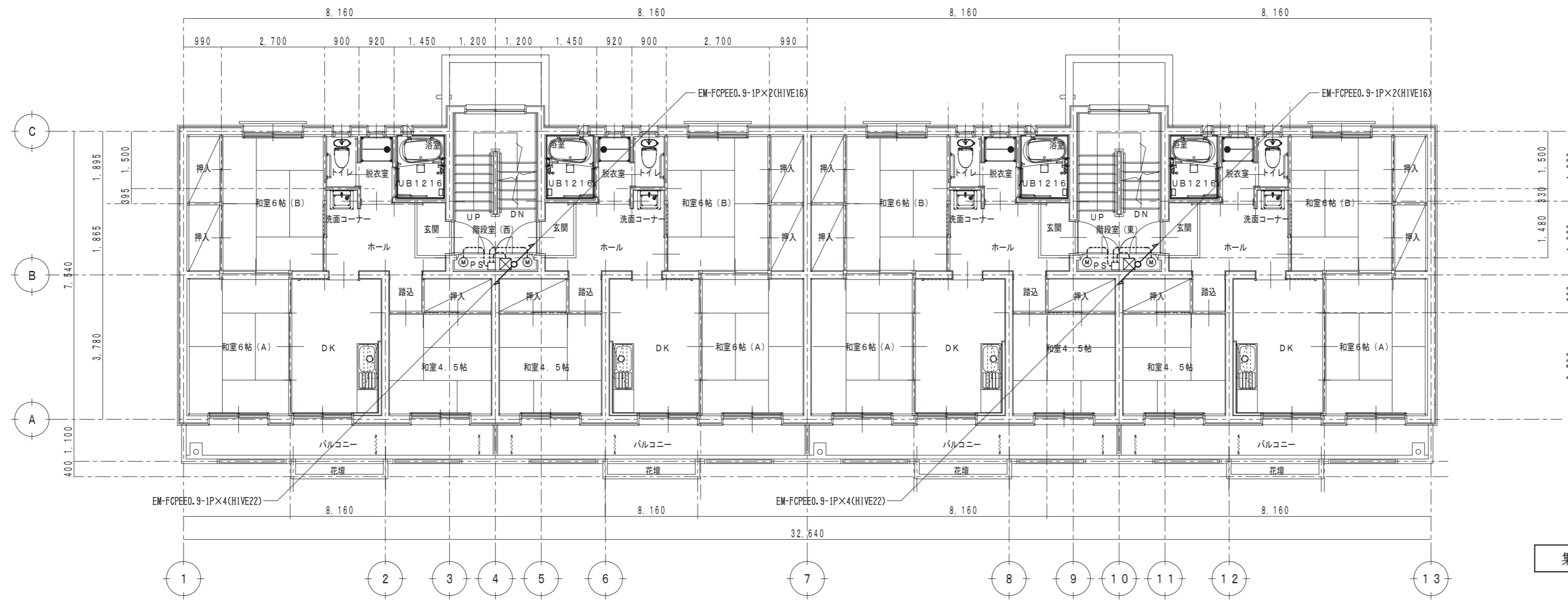
県営住宅越殿団地エコ改善工事 (機械設備)
集中検針設備 1、2階 配線図

SCALE S=1/100

No. M-15
DATE 2026.01



集中検針設備 4階 配線図 S=1/100



集中検針設備 3階 配線図 S=1/100

鳥取県
令和7年度
J2501317
中部総合事務所

有限会社 福田設備設計
〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

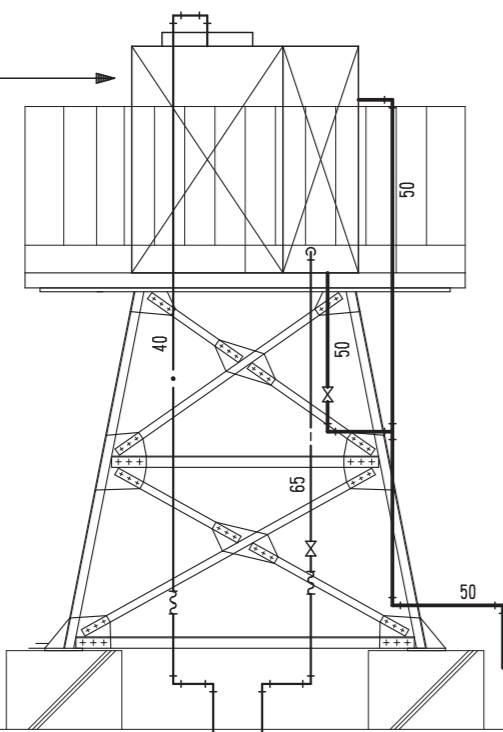
管理建築士 福田洋之
一級建築士 第376077号
担当者 福田洋之
設備設計一級建築士 第5962号

CHECK 福田
DRAW 福田

県営住宅越殿団地エコ改善工事 (機械設備)
集中検針設備 3、4階 配線図

SCALE S=1/100
No M-16
DATE 2026.01

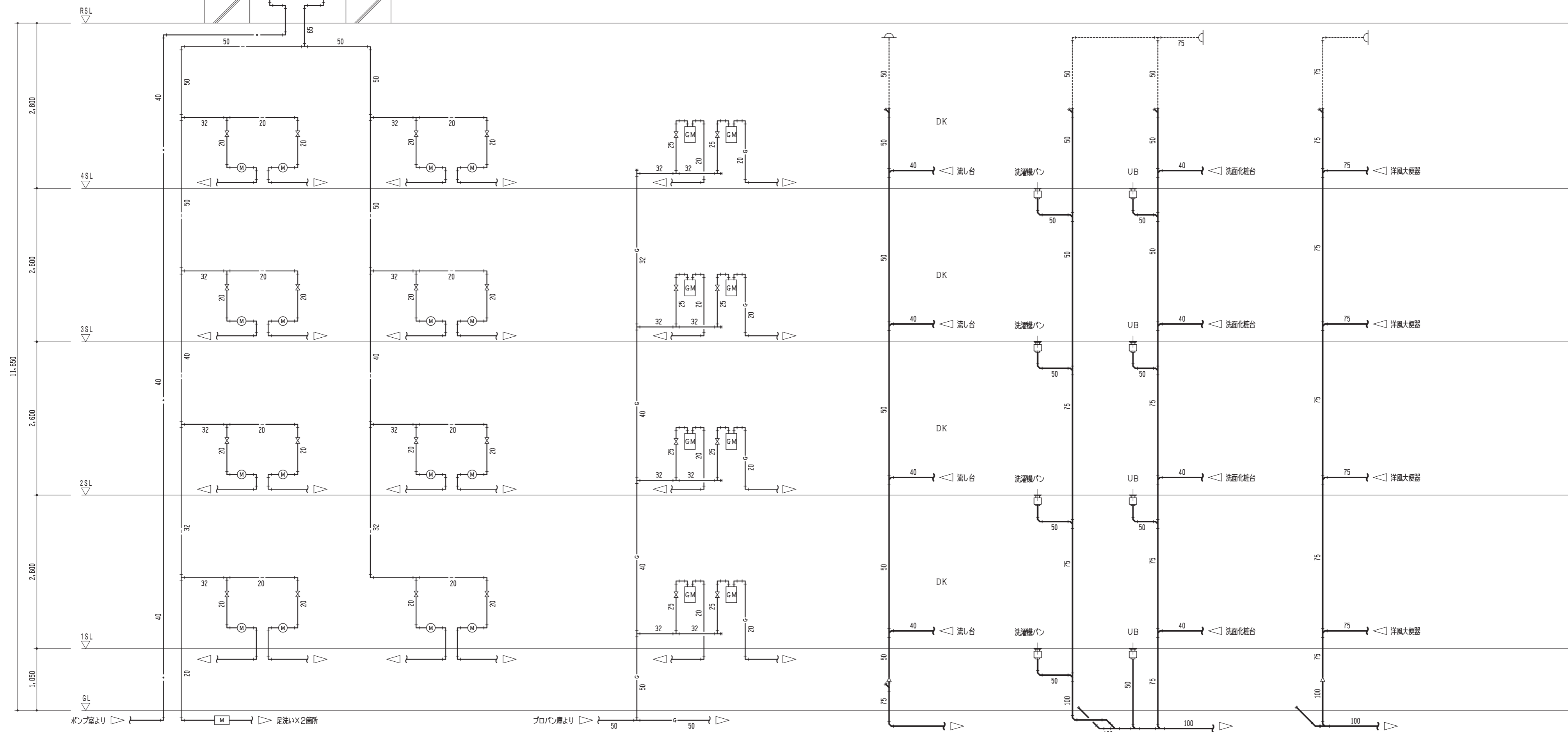
高架水槽撤去（架台共）
FRP製複合板パネル組立型 耐震 1.5G
有効容量 2.0m³ (1.5X1.5X1.5H)



記号	名称	施工箇所	配管材料
———	給水管	屋内一般	塩ビライニング鋼管
		地中埋設	塩ビライニング鋼管
		地中埋設（受水機周り）	塩化ビニル管
———	排水管	屋内一般	塩ビライニング鋼管
		地中埋設	塩ビライニング鋼管
———	雑排水・汚水・雨水管	全般	塩化ビニル管
———	通気管	全般	塩化ビニル管
———	ガス管	屋内一般	配管用炭素鋼管
		地中埋設	配管用炭素鋼管

管種	施工箇所	配管材料
給水管・排水管	屋外露出	ポリスチレンフォーム+SUSラッキング
	PS内	ポリスチレンフォーム+綿布
	木造間仕切内、床下内	ポリスチレンフォーム+アスファルトジュート巻き
	天井内	ポリスチレンフォーム+アスファルトジュート巻き
雑排水・汚水管	屋外露出	ポリスチレンフォーム+綿布
	天井内	ポリスチレンフォーム+アスファルトジュート巻き

・ 図中大線（実線）部は撤去配管機器を示す 但し撤去配管の内、地中埋設、壁埋込等の撤去困難な配管撤去は監督員と協議を行うこと
・ 配管、ダクト撤去後の貫通穴はモルタル穴埋め補修を行うこと
・ コンクリート土間下配管は既存のままとし、管端末をキャップ止めとする
・ 図中各既設管の口径、ルート等は、再度既設設備を調査して施工すること
・ 施工に必要な内外部の足場（脚立足場程度を除く）は、原則として別途建築工事の足場を利用すること
・ 天井ボード撤去後、壁床の改修及び防水補修は全て別途建築工事とする



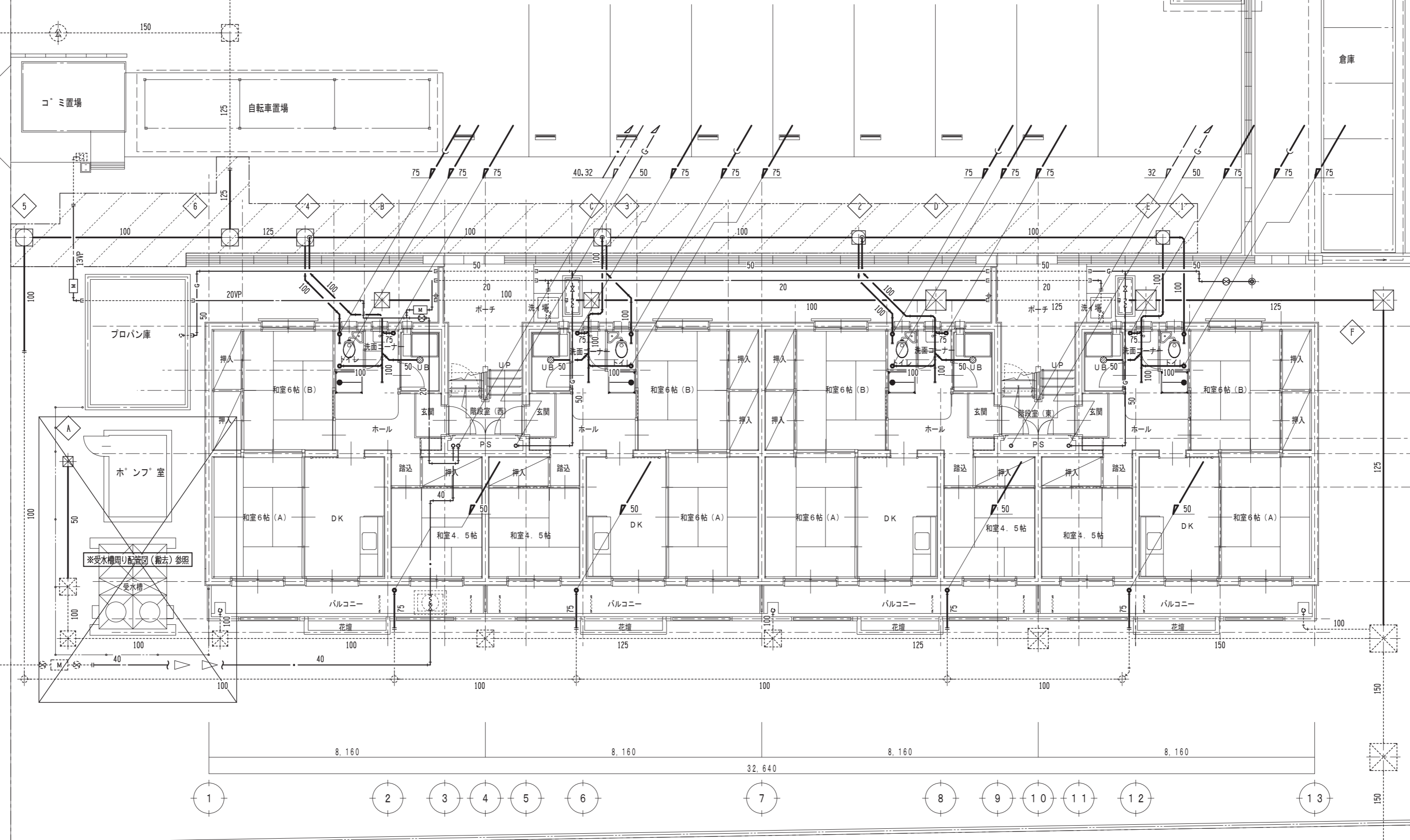
衛生設備 配管系統図（撤去）



量水器	13A	1
量水器	20A	1
止水栓	20A	2
錆鉄製量水器ボックス		1
樹脂製量水器ボックス		1

ガス管用FJボックス (RC製) 撤去		
1200X600X600H		2
編組板3.2t (1080X440)		
GV	50A	2
FJ	400LX50A	2

点検井 (RC製) 撤去		
950X700X600H		1
MHBφ500		
GV	40A	1
FJ	400LX40A	1



撤去各樹寸法表

記号	名称	形状寸法	樹深さ(参考)	記号	名称	形状寸法	樹深さ(参考)
1	汚水樹	既製丸樹 SA-1	MHB-400 400H	A	会所樹	既製角樹 300X300 RC管	300H
2	汚水樹	既製丸樹 SA-3	MHB-400 590H	B	会所樹	現場打ち 450X450 MHB-450	360H
3	汚水樹	既製丸樹 SB	MHB-500 750H	C	会所樹	現場打ち 450X450 MHB-450	430H
4	汚水樹	既製丸樹 SB	MHB-500 930H	D	会所樹	現場打ち 600X600 MHB-500	530H
5	汚水樹	既製丸樹 SB	MHB-500 1070H	E	会所樹	現場打ち 600X600 MHB-500	600H
6	汚水樹	既製丸樹 SB	MHB-500 1000H	F	会所樹	現場打ち 600X600 MHB-500	690H

凡例
太線は撤去配管等を示す
既設配管を示す
既設管の切断部を示す
既設管のキャップ止め、プラグ止め部を示す
コンクリート舗装撤去範囲を示す (C-15-15)

衛生設備 1階、屋外 配管図(撤去) S=1/100



有限会社 福田設備設計

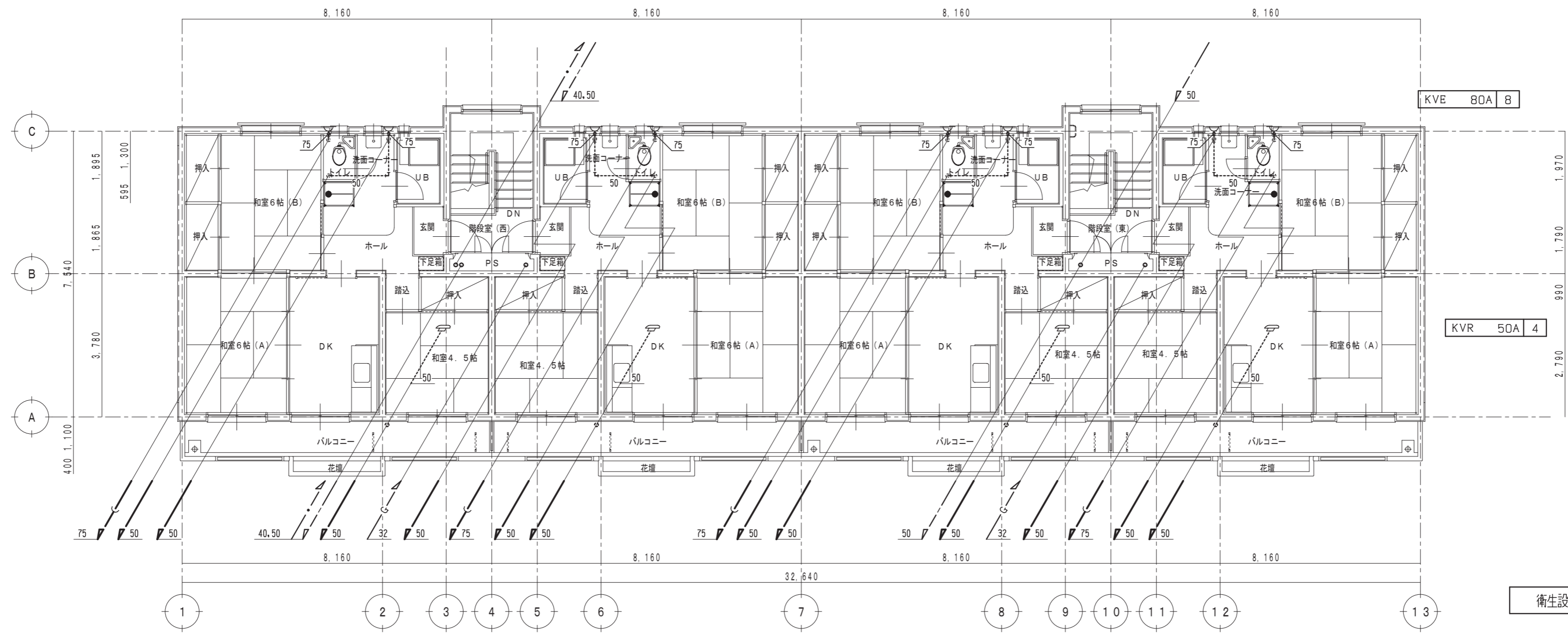
〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 福田洋之
 一級建築士 第376077号
 担当者 福田洋之
 設備設計一級建築士 第5962号

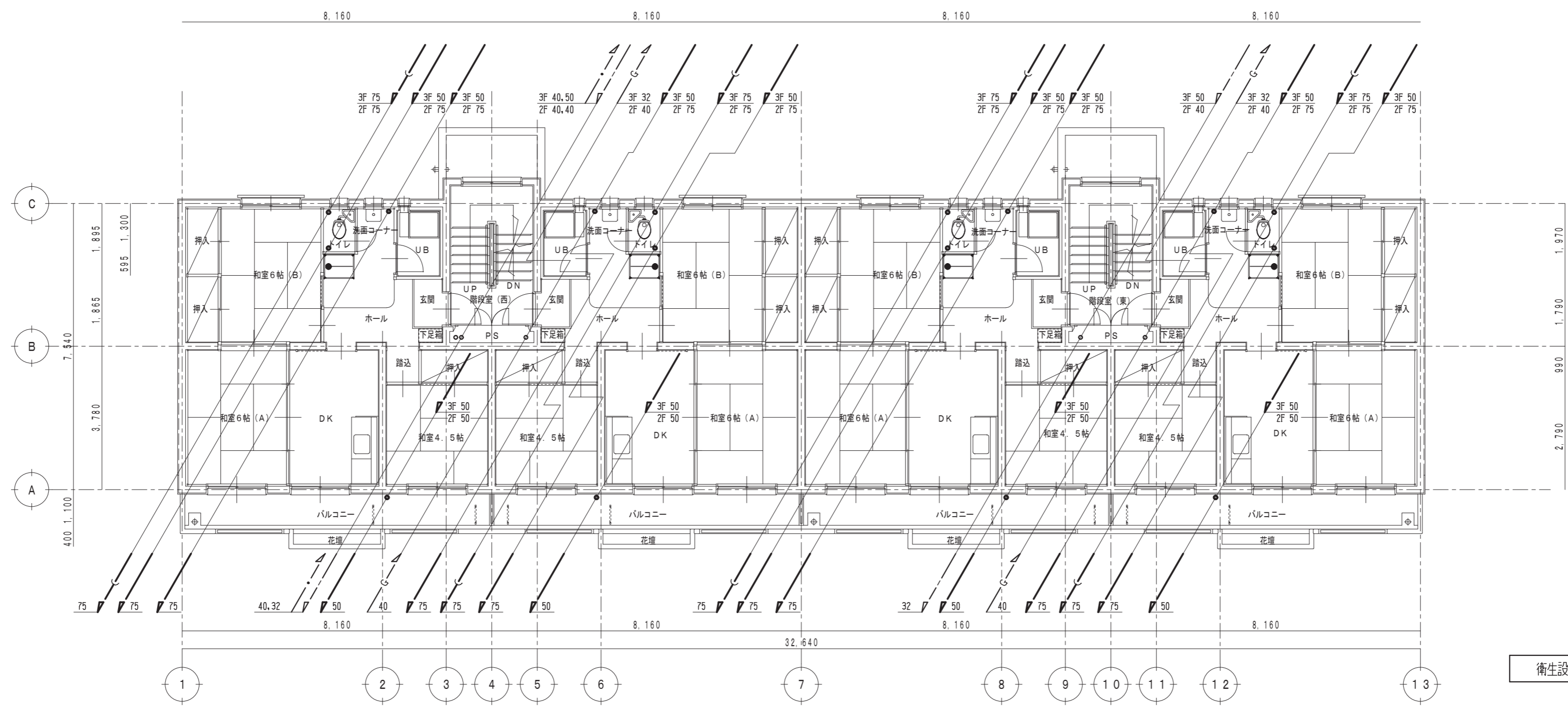
CHECK DRAW
 福田 福田

県営住宅越殿団地工コ改善工事 (機械設備)
 衛生設備 1階、屋外 配管図(撤去)

SCALE No
 S=1/100 M-18
 DATE
 2026.01



衛生設備 4階 配管図(撤去) S=1/100



衛生設備 2、3階 配管図(撤去) S=1/100

鳥取県
令和7年度
J2501317
中部総合事務所

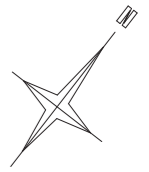
有限会社 福田設備設計
〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士
一級建築士 第376077号 福田洋之
担当者
設備設計一級建築士 第5962号 福田洋之

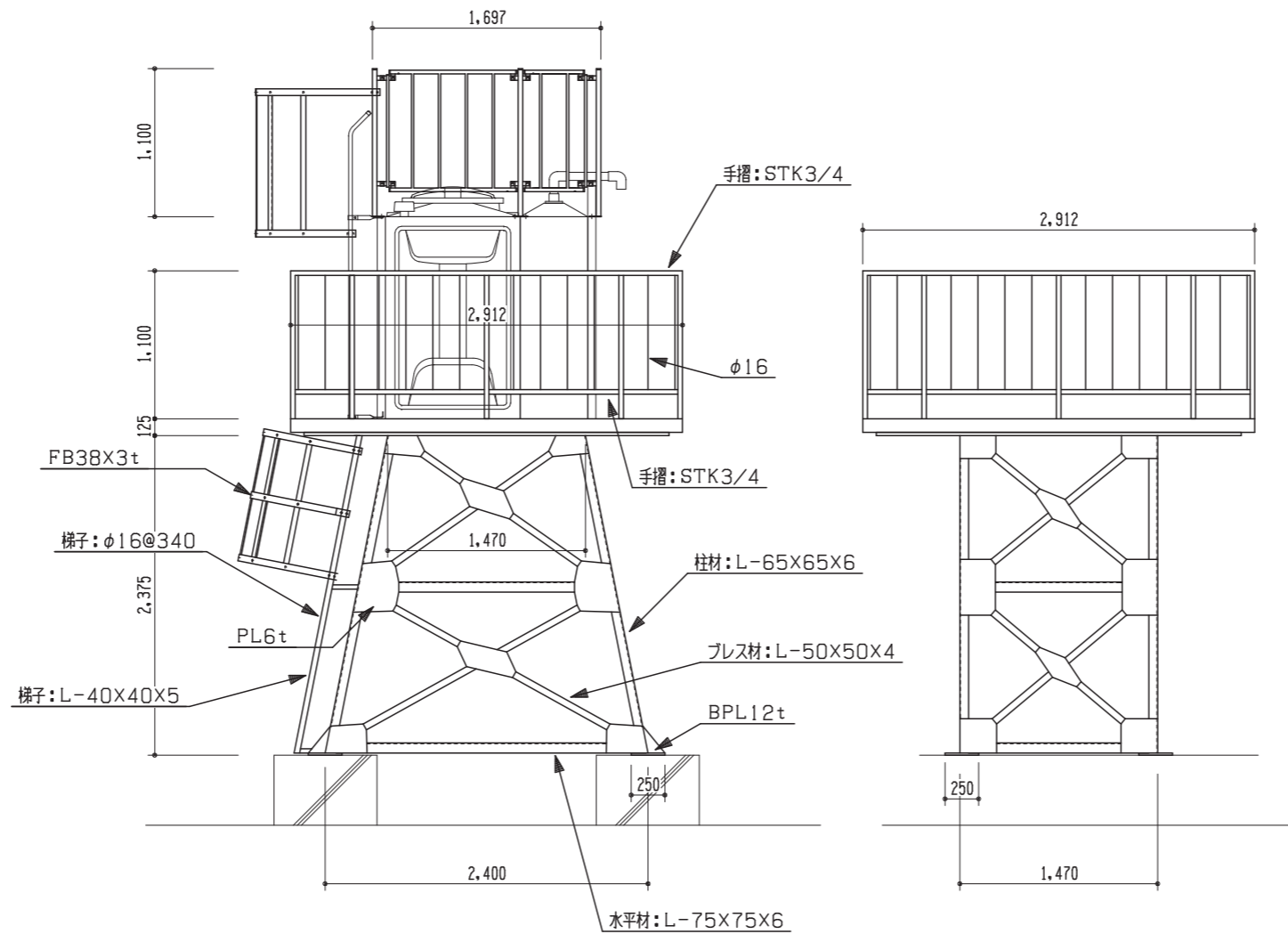
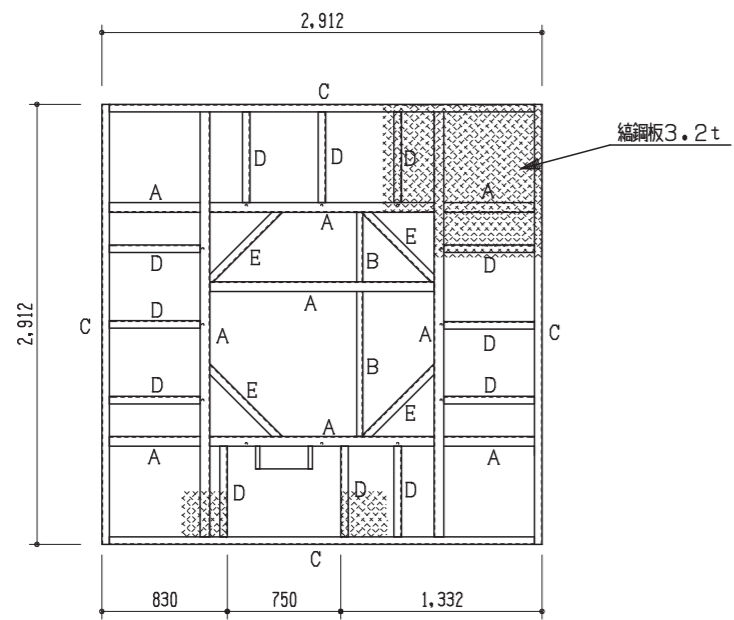
CHECK DRAW
福田 福田

県営住宅越殿団地エコ改善工事(機械設備)
衛生設備 2~4階 配管図(撤去)

SCALE No
S=1/100 M-19
DATE
2026.01

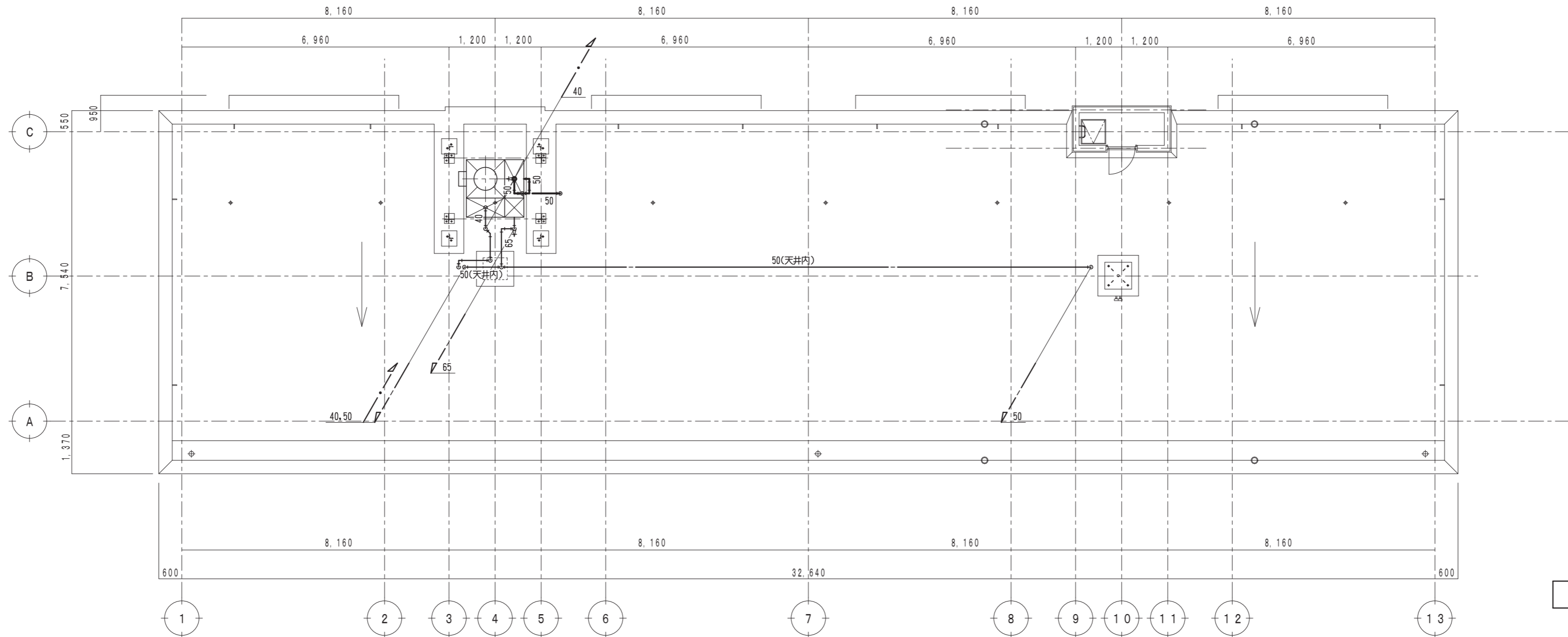


架台鋼材リスト	
記号	名称
A	溝形鋼-125X65X6
B	溝形鋼-75X40X5
C	溝形鋼-100X50X5
D	L-50X50X6
E	L-50X50X4



高架水槽架台 参考図(撤去) S=1/50

高架水槽周り			
GV	50A	1	
BV	65A	1	
FJ (ゴム)	300LX40A	1	
FJ (ゴム)	500LX65A	1	



衛生設備 屋上 配管図(撤去) S=1/100



有限会社 福田設備設計

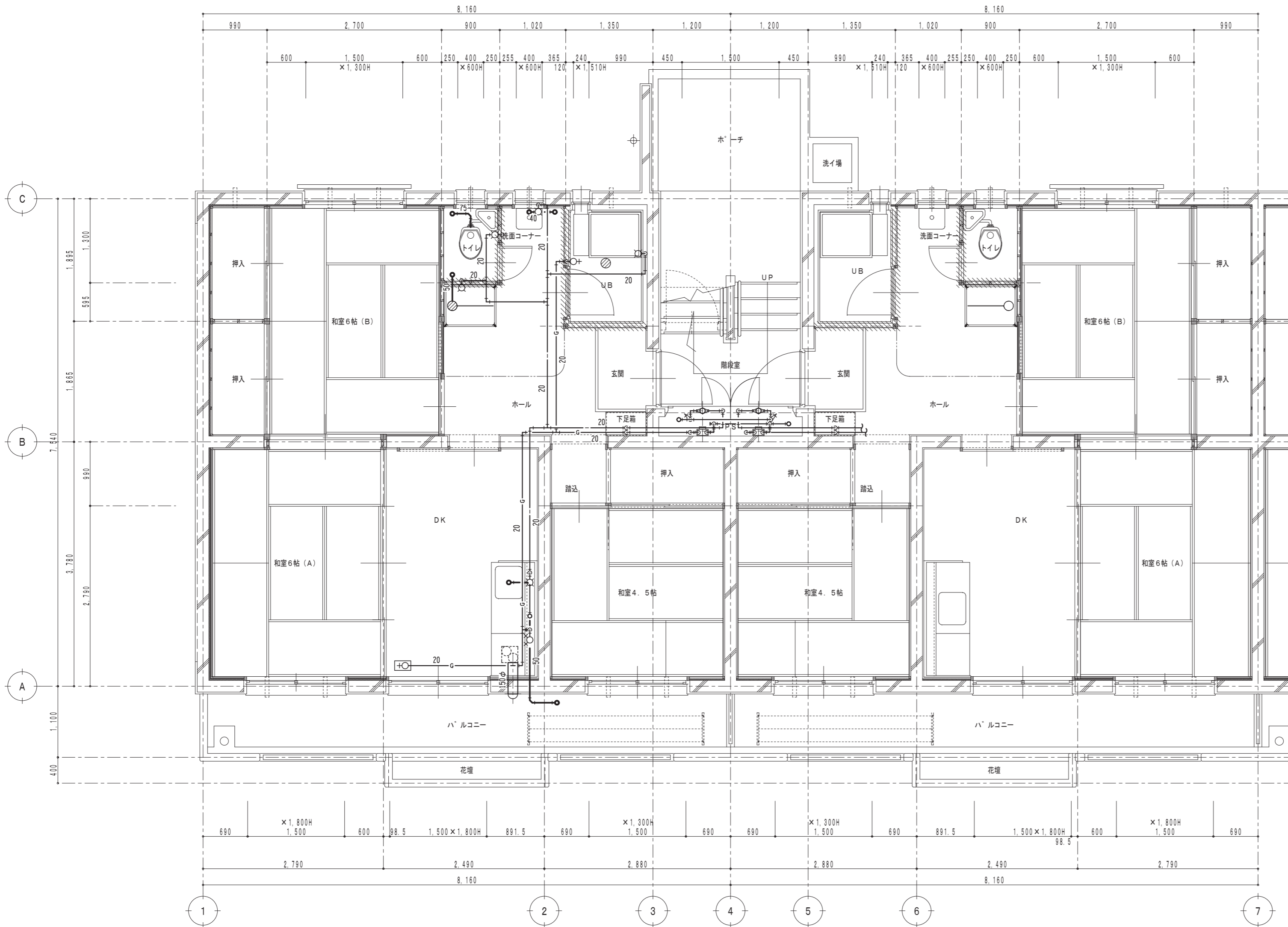
〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 第376077号 福田洋之
 一級建築士 第5962号 福田洋之
 担当者 福田洋之
 設備設計一級建築士 第5962号 福田洋之

CHECK 福田
 DRAW 福田

県営住宅越殿団地工コ改善工事 (機械設備)
 衛生設備 屋上 配管図、高架水槽架台 参考図(撤去)

SCALE S=1/100, 50
 No M-20
 DATE 2026.01



換気、衛生設備 1階 住戸内配管図(撤去) S=1/50

撤去器具表 (1戸当たり) ※全16戸

室名	名称	参考品番	仕様	数量
トイレ	洋風大便器	C14P	手洗い付ロータンク、紙巻器 他付属品一式	1
洗面コーナー	洗面化粧台		500×400、Sトラップ、止水栓	1
	洗濯機用水栓	T200	φ13	1
	洗濯機パン	PW20N	800タイプ、排水トラップ共	1
UB	バランス釜	RBF-ASBN	BF式、給湯能力:6.5号、シャワー付き 他付属品一式	1
	自在水栓	T30AR	φ13	1
	ガスコック	単口	15A	1
DK	立水栓		φ13	1
	止水栓		15A	1
	ガスコック	二口	15A	1
	床下ガスコック	単口	15A	1
	仕切弁		GV5K 20A	1
PS	量水器		20A (保温カバー共)	1
	ガスメーター		貸与品 (※ガス会社により撤去)	1
	サービスコック		25A	1

特記事項	
・	1階は給水管、ガス管、排水管ともビッド内配管とする
・	図中太線(実線)部は撤去配管機器を示す
但し撤去配管の内、地中埋設、壁埋込等の撤去困難な配管撤去は監督員と協議を行うこと	
・	浴槽、流し台(ユニット付配管、機器等)の撤去は、別途建築工事とする
・	流し台に給湯器、洋風大便器に暖房便座等が設置されている場合は、返却又は撤去すること
・	配管、ダクト撤去後の貫通穴はモルタル穴埋め補修を行うこと
・	吊ボルト撤去後はシール等にて補修を行うこと

有限会社 福田設備設計
 〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 福田洋之
 一級建築士 第376077号
 担当者 福田洋之
 設備設計一級建築士 第5962号

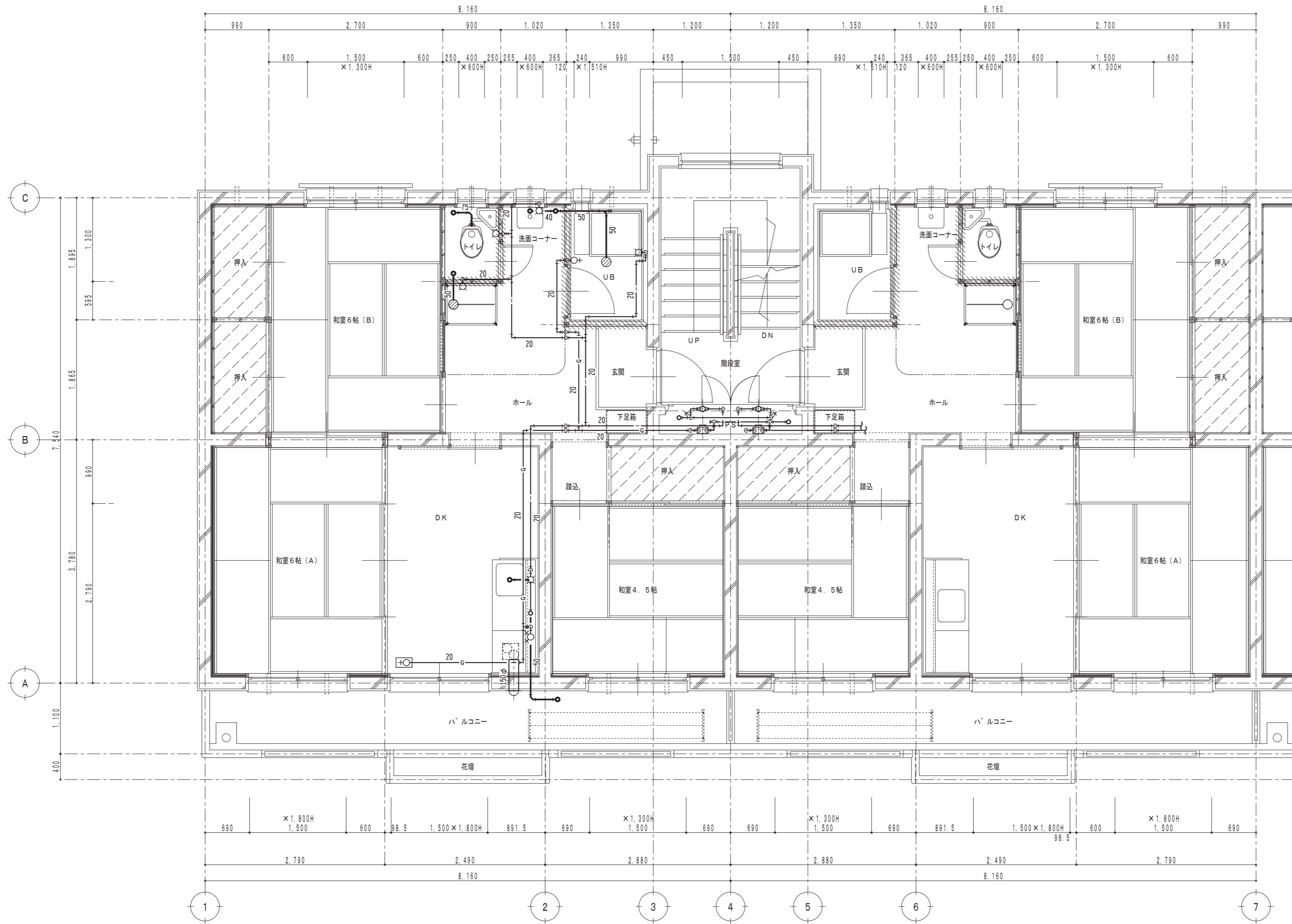
CHECK DRAW
 福田 福田

県営住宅越殿団地エコ改善工事(機械設備)
 換気、衛生設備 1階 住戸内配管図(撤去)

SCALE No
 S=1/50 M-21
 DATE
 2026.01



特記事項
・ 2～4階は給水管、ガス管は床スラブ上配管、排水管は下階天井内配管を示す
・ 図中大線（実線）部は撤去配管機器を示す
但し撤去配管の内、地中埋設、壁埋込等の撤去困難な配管撤去は監督員と協議を行うこと
・ 浴槽、流し台（ユニット付風呂配管、機密等）の撤去は、別途建築工事とする
・ 流し台に給湯器、洋風大便器に暖房便座等が設置されている場合は、返却又は撤去すること
・ 配管、ダクト撤去後の貫通穴はモルタル穴埋め補修を行うこと
・ 吊ボルト撤去後はシール等にて補修を行うこと
・ トイレ汚水管エルボ部分保温材にはアスベスト含有無しを見込んでいますが、現地で調査を行うこと
・ 分析が必要な場合は別途協議とする
・ 2～4階PS内の立管撤去に伴う床スラブコンクリートはつり補修については本工事とする



換気、衛生設備 2～4階 住戸内配管図(撤去) S=1/50

鳥取県
令和7年度
J2501317
中部総合事務所

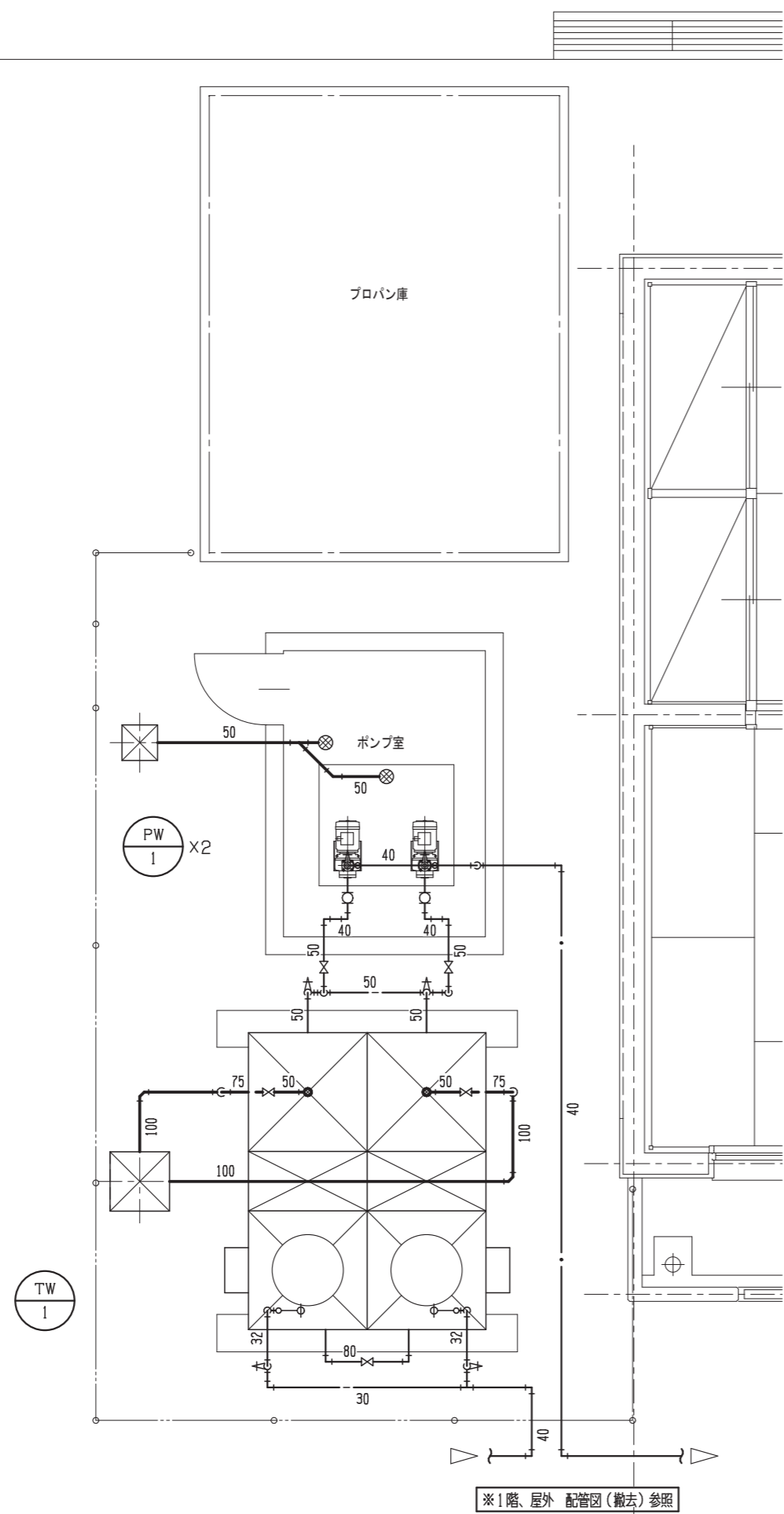
有限会社 福田設備設計 〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669	管理建築士 一級建築士 第376077号 福田洋之	CHECK 福田	DRAW 福田	県営住宅越殿団地エコ改善工事(機械設備)	SCALE S=1/50	No. M-22
	担当者 設備設計一級建築士 第5962号 福田洋之	換気、衛生設備 2～4階 住戸内配管図(撤去)	DATE 2026.01			

撤去器具表

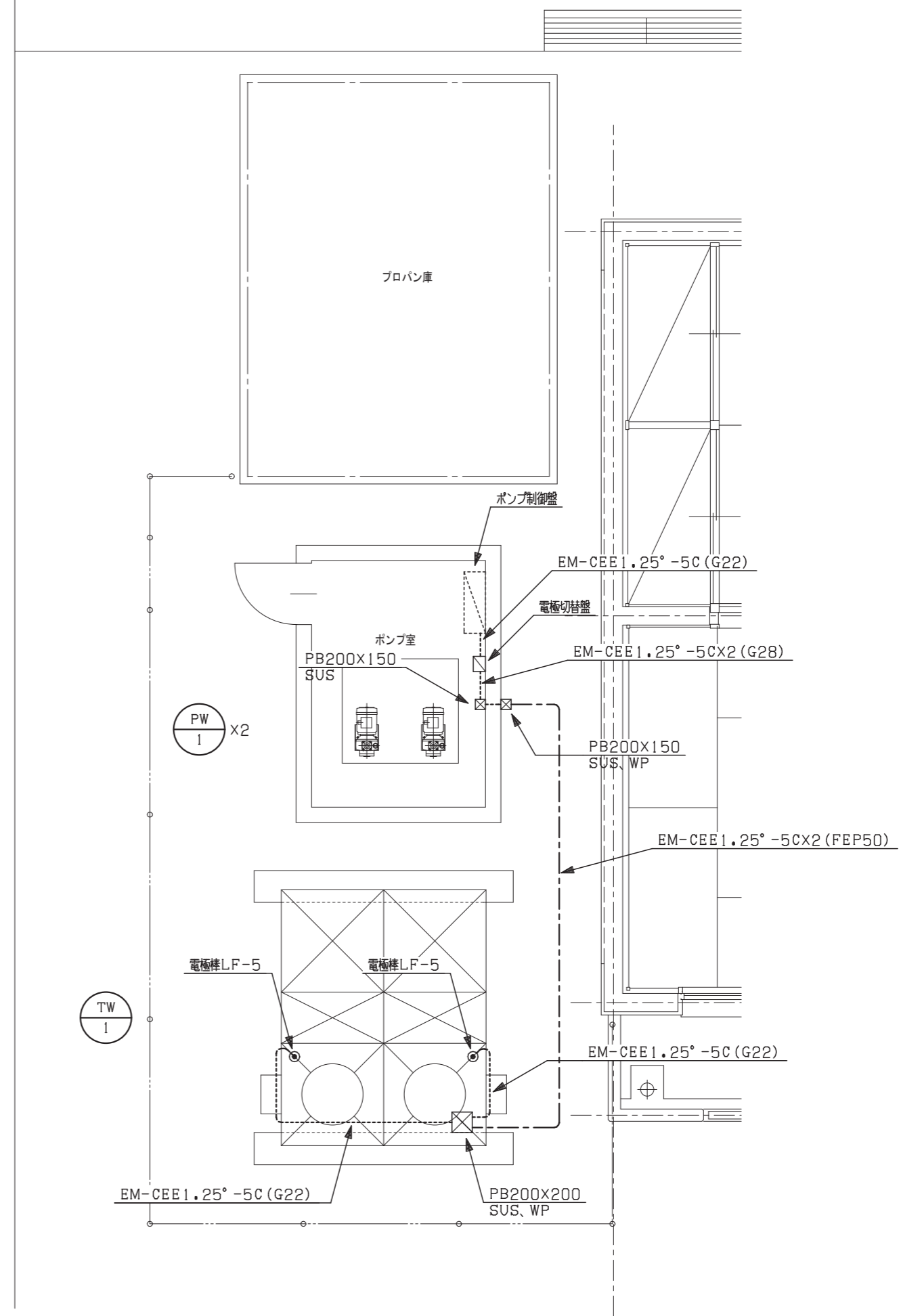
記号	名称	仕様	動力		台数	備考
			φ-V	kW		
TW-1	受水槽	形式: FRP製複合パネル組立型(中仕切付)、耐震1.0G 容量: 呼称10.0m ³ 寸法: 2.5×(1.0+1.0)×2.0H 付属品: 平架台(1形鋼-200×100×7、溶融亜鉛メッキ仕上げ) 電極座、内外梯子、マンホール 他付属品一式			1	
PW-1	揚水ポンプ	形式: 多段タービンポンプ 能力: φ400×100L/min×34m 付属品: 圧力計等 他付属品一式	3-200	2.2	2	

PW-1 周り		
GV	40A	2
CV	40A	2
FJ (SUS)	300L×40A	2
FJ (球型)	40A	2

TW-1 周り		
GV	32A	2
GV	50A	2
BV	50A	4
BV	80A	1
FJ (ゴム)	300L×32A	2
FJ (ゴム)	500L×50A	2
BT	32A	2
防虫網	80A	2



衛生設備 受水槽周り配管図(撤去) S=1/50



衛生設備 受水槽周り配線図(撤去) S=1/50



有限会社 福田設備設計

〒689-1115 鳥取市紙子谷1-0番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士
一級建築士 第376077号 福田洋之
担当者
設備設計一級建築士 第5962号 福田洋之

CHECK
福田

DRAW
福田

県営住宅越殿団地エコ改善工事(機械設備)
衛生設備 受水槽周り配管図、配線図(撤去)

SCALE

S=1/50

No

M-23

DATE

2026.01